

令和 6 年 度

事 業 報 告 書

社会福祉法人

西 予 総 合 福 祉 会

令和6年度 事業報告

新型コロナウイルス感染症が大規模で広範囲の感染から限定的な感染となり、社会が感染症に慣れ、落ち着きつつある一方で、欧米やアジアでの不透明な経済状況が施設経営の大きな足かせとなる諸物価の高騰、そして何より、想定を上回る速度での人口減少と超少子高齢化の進行とますます先が見通せない社会となっている。このような状況下地域の福祉拠点としての役割を果たすために一年間様々な事業や取り組みを遂行した。

高齢者事業では、前年度12月に起工した養護老人ホーム三楽園建設事業は、今年11月末に予定通り竣工。12月には落成式を挙行し、同時に地元住民を対象に餅まき、内覧会も実施し、利用者引越しも滞りなく完了し、良好な船出となった。措置施設として全室個室の快適な居住空間を提供できている。そして要介護入所者の福祉ニーズに対応できるように新年度から特定入居者生活介護事業を開始に向け、準備を進めた。

次に、株式会社ケアジャパンのハッピー西予に所属する職員を転籍の形で二段階に分けて受け入れた。まず、4月に登録型ホームヘルパー職員4名がヘルパーステーションまつばへ、7月にはケアマネジャー3名を居宅介護事業所陽だまりで迎い入れた。このことにより、同事業所の利用者を切れ目なく支援でき、地域での役割を果たした。また職員の福利厚生として、旧松葉診療所の建物を職員宿舎として改築し、12月から職員住宅ソレイユⅡとして供用開始。その誠実さで各事業所を支える外国人介護人材の住まいとして活用できている。

一方で、訪問看護ステーション歩は令和元年7月の開設当初より終始厳しい業績状況が続いたため、経営立て直し困難と判断し、今年度末で事業を終了した。利用者には個別サービスが途切れないように他事業所を紹介し、事業終了の不安解消に努めた。

児童事業では、高山保育園を今年度から認定こども園へ移行した。この施策により、経営が安定し、10名でのスタートながら、小規模の特徴を生かし、個々の園児に寄り添う保育で地域とのつながりを深めている。休園中の明間保育園は次年度の申込者が、引き続きごく少数で休園2年目を終えた。また、出生児数の減少で他の保育園、認定こども園も入園申し込みが大幅な減となっており、うわまち未来こども園については20名、石城保育園と多田保育園がともに10名減と合計40名の利用定員減少となる。今後も児童数の減少が続き、保育事業の在り方が課題となっている。

養護障がい事業部は希望の森、松葉学園共に安定した経営状態であり、困難な社会情勢の中、法人事業活動資金収支差額が4億円を超えるなど、順調な経営の一因となっている。

最後に法人の今後について触れておきたい。法人は10年前に当時の臨時及び嘱託職員を全員正職員登用するなど、人事制度を見直し、新しい等級制度や人事評価制度を導入した。しかし急激な時代の変化や多様化する価値観で徐々に制度の不具合が生じはじめた。そこで私たちは将来を見据えた事業経営の強化を推進するために、外部コンサルタントの力を活用し、給与、等級、評価制度などの職員の人事制度の大幅な改革を次年度から推し進めていくことを決定した。

ここでは、法人が「各職員に対し、働き方やキャリア形成を考慮し、より働きやすい環境を提供する。各職員は法人に経営で貢献し、お互いが満足できる関係となる」という「エンゲージメント経営」の考え方を基本にしている。今こそ利用者支援を第一の軸に、福祉の担い手として、法人が地域の要であることを自覚し、その基盤をより強固なものにしたいと考えている。

令和6年度：数値目標達成結果

(1) 定年退職者を除く正職員の離職率を5%以下とする。

目標	目標値	結果	R6	R5	R4
5%以下	5.0%以下	×	6.9%	5.6%	6.2%

(2) 労災保険対象事故の発生件数を前年度対比10%削減させる。

目標	目標値	結果	R6	R5	R4
前年比10%削減	10件以下	×	15	11	18件

(3) 事業活動資金収支差額を前年度対比3%増加させる。

目標	目標値	結果	R6	R5	R4
前年比3%増加	333,253千円以上	○	401,148千円	84,740千円	323,547千円

(4) 一人当たりの時間外労働を月平均5時間以下とする。

目標	目標値	結果	R6	R5	R4
月平均5h以下	5h以下	○	3.4h	4.2h	4.0h

(5) 法人が指定する資格の取得者を15人以上とする。

目標	目標値	結果	R6	R5	R4
15人以上	15人以上	×	13人	15人	11人

(6) ストレスチェック組織分析結果の健康リスクを95以下とする。

目標	目標値	結果	R6	R5	R4
95以下	95以下	○	86	96	100

(7) ホームページ閲覧数を前年度対比20%増加させる。

目標	目標値	結果	R6	R5	R4
前年比20%増加	80,410以上	×	47,326	55,282	67,008

(8) 障がい者雇用率について法定雇用率(2.5%)を維持する。

目標	目標値	結果	R6	R5	R4
法定雇用率達成	2.50%以上	○	3.53%	2.70%	3.21%

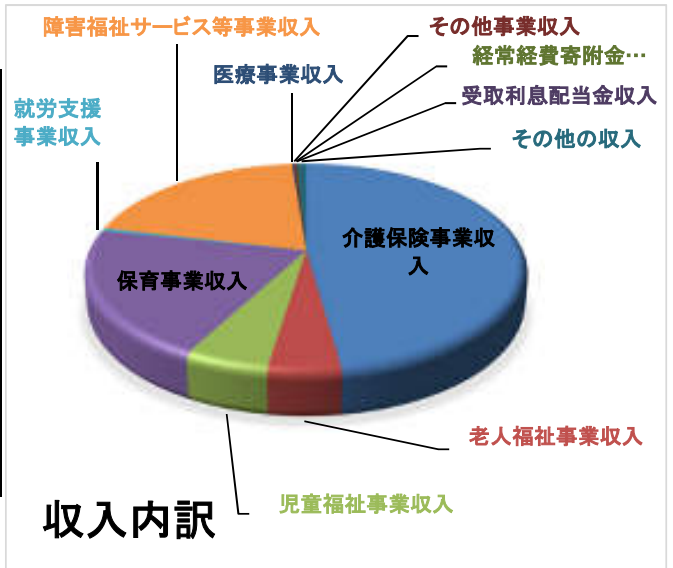
「法人決算概要」及び「施設別運営状況」は、別紙のとおり

I. 事業活動による収入・支出額

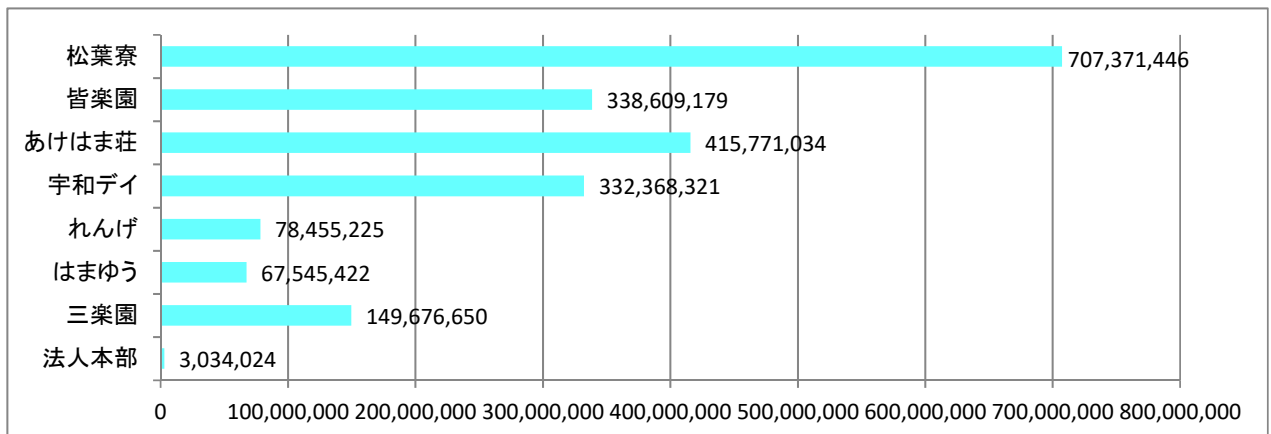
1. 事業活動による収入内訳

単位:円

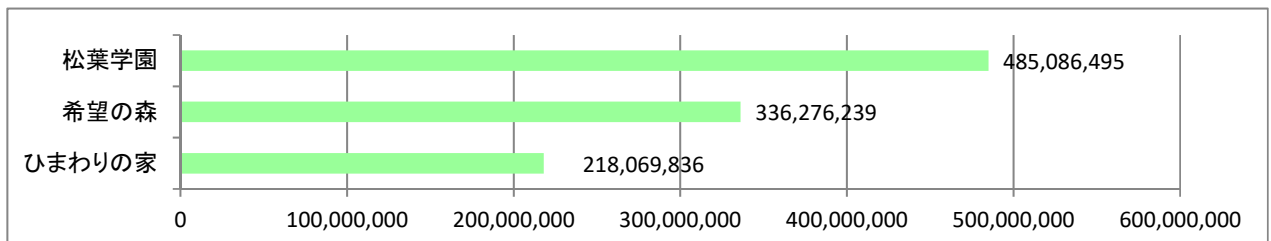
勘定科目	金額	率
介護保険事業収入	1,883,145,507	47.77%
老人福祉事業収入	184,241,577	4.67%
児童福祉事業収入	214,438,470	5.44%
保育事業収入	802,162,922	20.35%
就労支援事業収入	18,707,449	0.47%
障害福祉サービス等事業収入	791,429,591	20.08%
医療事業収入	6,335,162	0.16%
その他事業収入	7,360,293	0.19%
経常経費寄附金収入	4,507,700	0.11%
受取利息配当金収入	1,396,195	0.04%
その他の収入	28,603,541	0.73%
事業活動収入計	3,942,328,407	100.00%



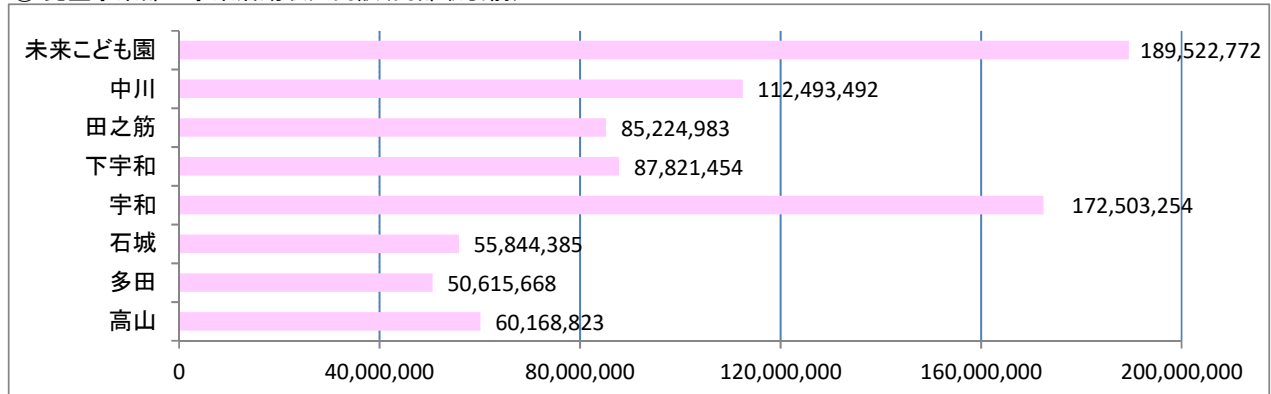
① 老人事業部・公益事業・法人本部の事業活動収入内訳(内部取引前)



② 養護・障がい事業部の事業活動収入内訳(内部取引前)



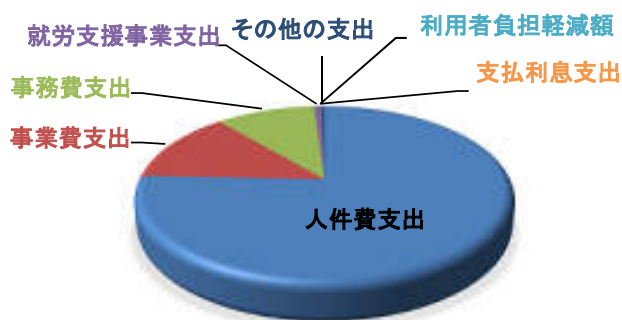
③ 児童事業部の事業活動収入内訳(内部取引前)



2. 事業活動による支出内訳

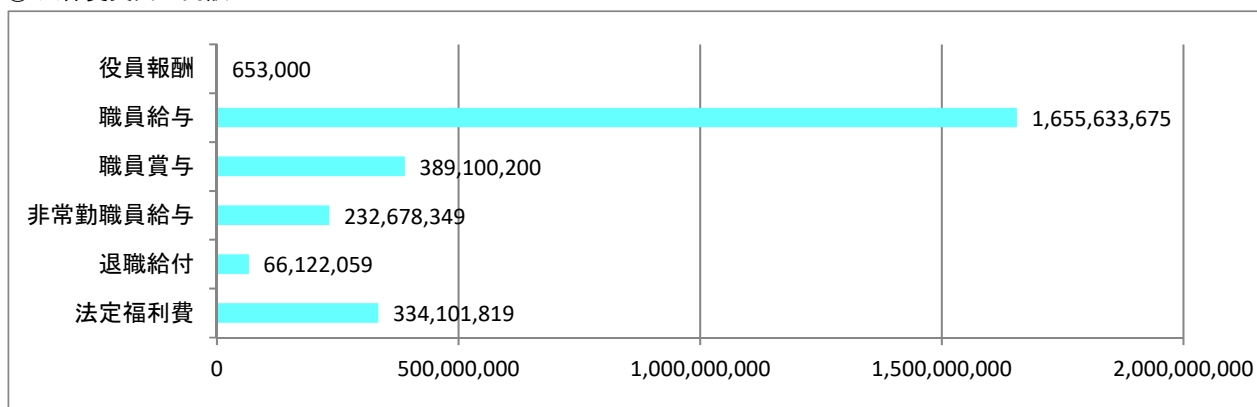
単位: 円

勘定科目	金額	率
人件費支出	2,678,289,102	75.63%
事業費支出	465,790,809	13.15%
事務費支出	360,152,742	10.17%
就労支援事業支出	22,958,856	0.65%
利用者負担軽減額	1,141,163	0.03%
支払利息支出	1,078,640	0.03%
その他の支出	11,768,510	0.33%
事業活動支出計	3,541,179,822	100.00%

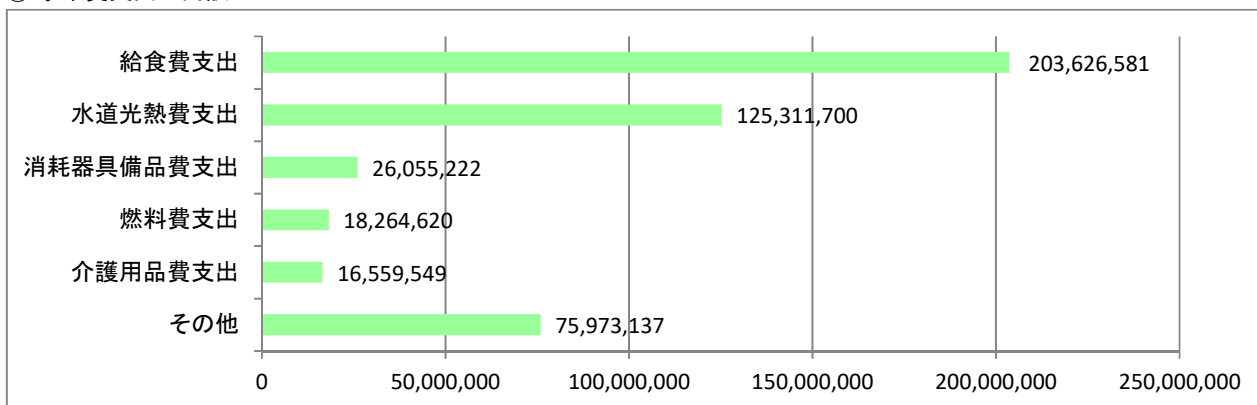


支出内訳

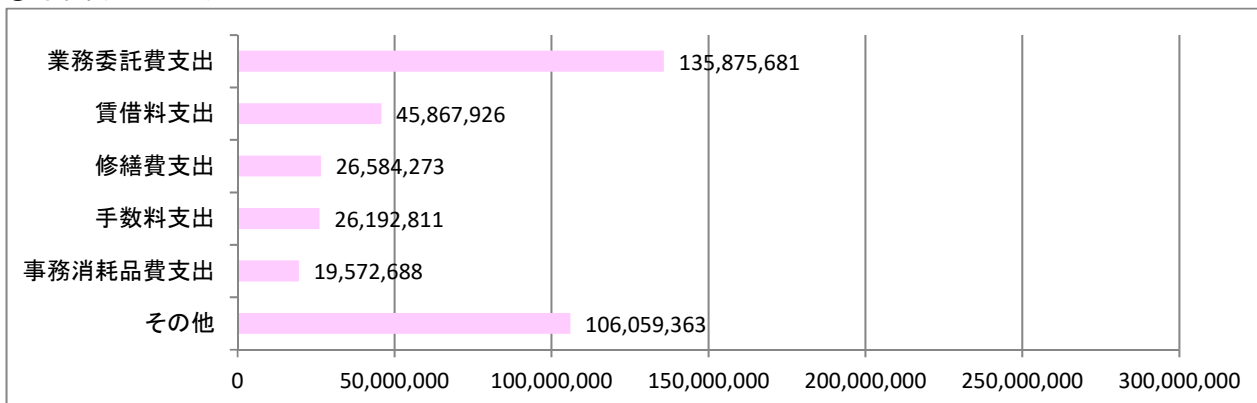
① 人件費支出の内訳



② 事業費支出の内訳

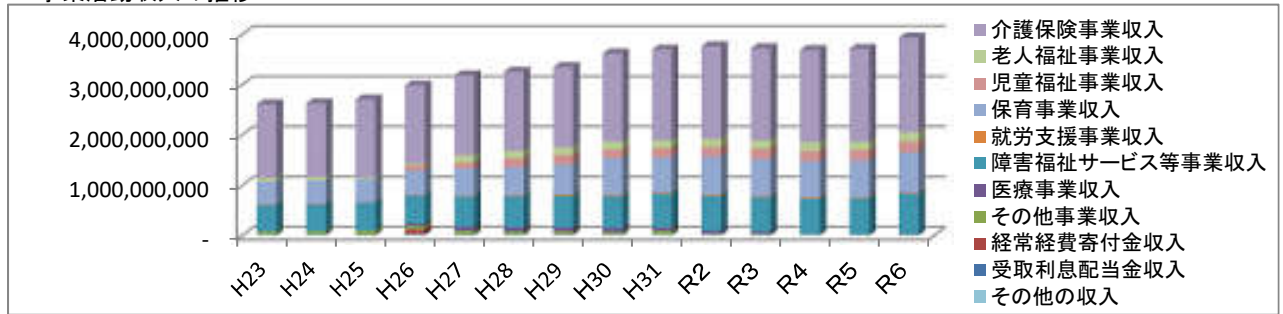


③ 事務費支出の内訳

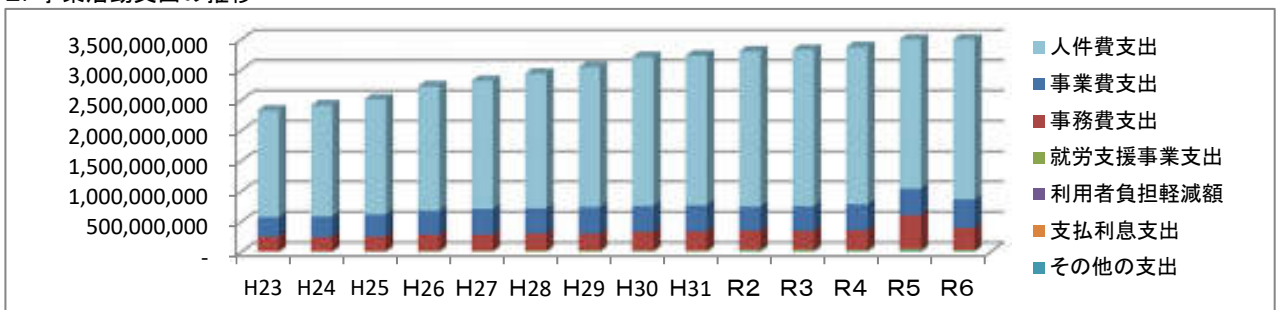


Ⅱ. 事業活動収支の推移(平成25年度より新会計基準適用 平成24年度以前は新基準に科目を振替て表示)

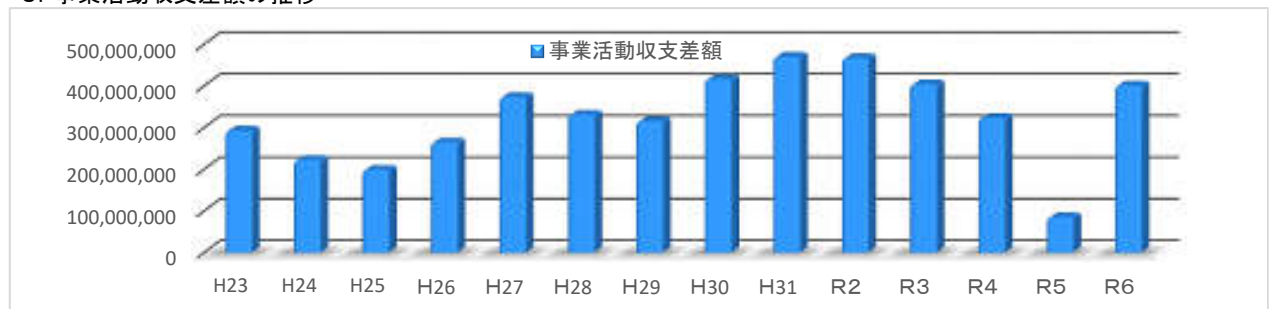
1. 事業活動収入の推移



2. 事業活動支出の推移



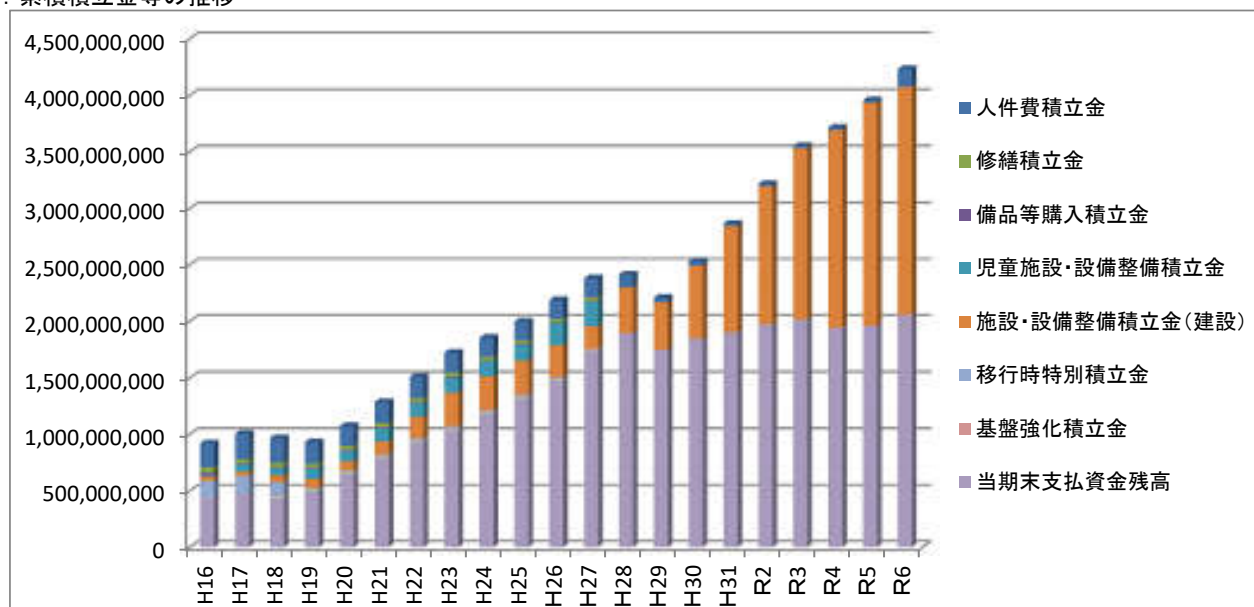
3. 事業活動収支差額の推移



勘定科目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業活動収支差額	466,848,846	403,952,269	323,546,590	84,826,110	401,148,585

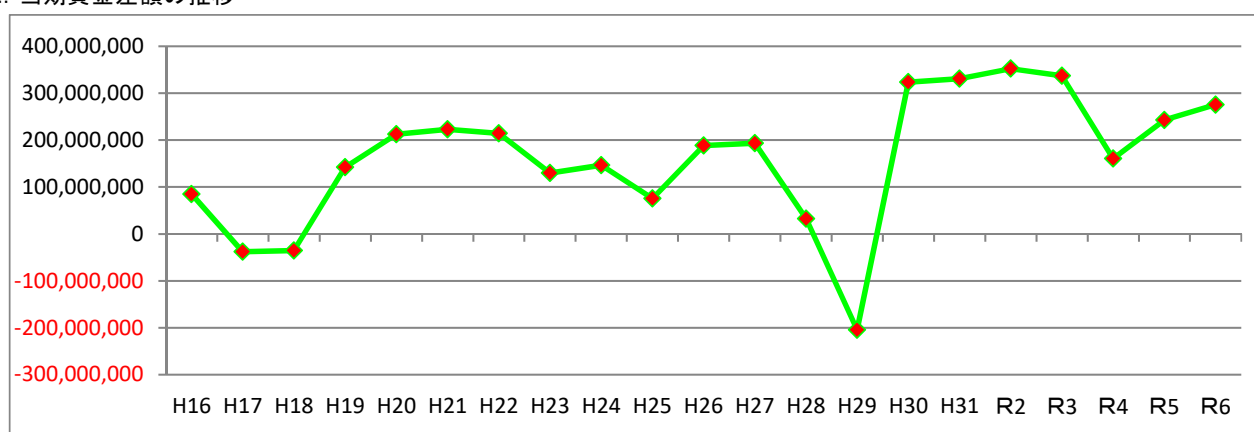
Ⅲ. 積立金等の推移(※平成28年度より児童施設・設備整備積立金と建設積立金を統合し施設・設備整備積立金とする)

1. 累積積立金等の推移



勘定科目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
人件費積立金	20,790,000	20,790,000	20,790,000	20,790,000	155,240,000
修繕積立金	0	0			
備品等購入積立金	0	0			
児童施設・設備整備積立金	0	0			
施設・設備整備積立金(建設積立金)	1,222,220,219	1,518,220,219	1,749,865,219	1,973,820,219	2,019,920,219
移行時特別積立金	0	0			
基盤強化積立金	0	0			
福祉の里推進活動積立金	0	0			
当期末支払資金残高	1,974,454,925	2,015,664,584	1,944,667,427	1,963,446,924	2,058,705,425
合計	3,217,465,144	3,554,674,803	3,715,322,646	3,958,057,143	4,233,865,644

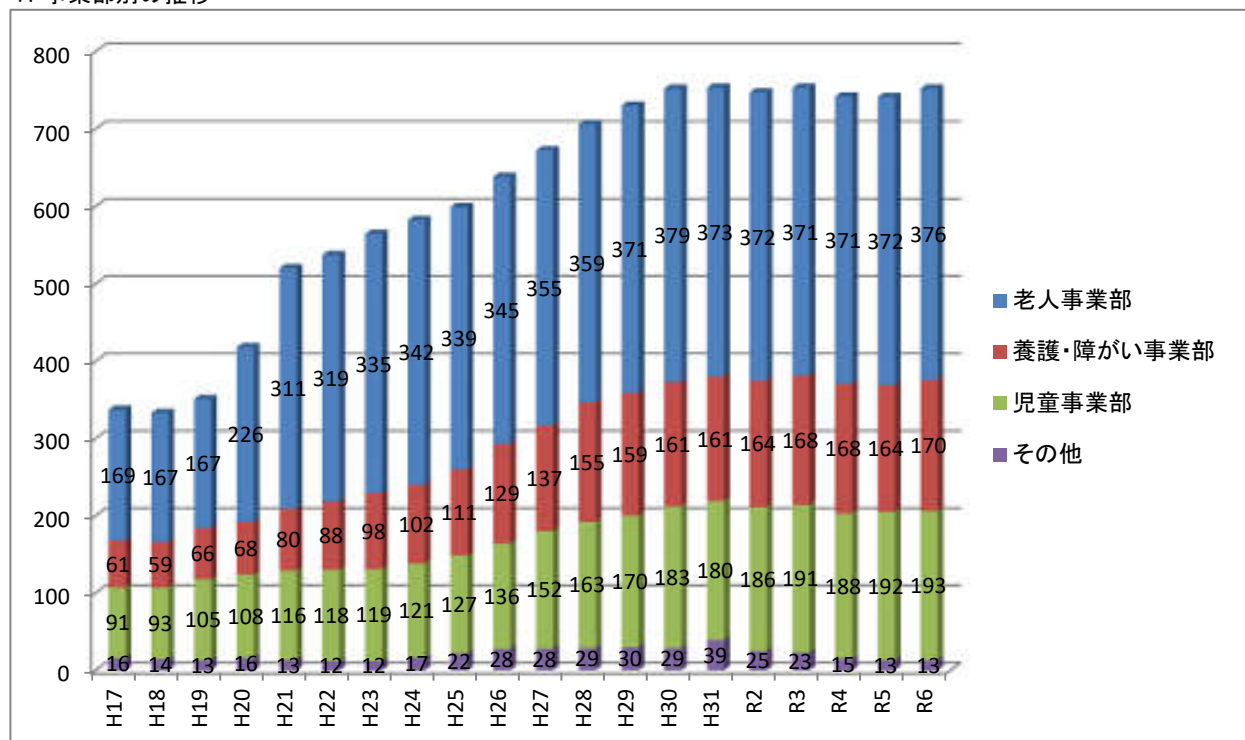
2. 当期資金差額の推移



勘定科目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
当期資金差額	352,363,051	337,209,659	160,647,843	242,734,497	275,722,592

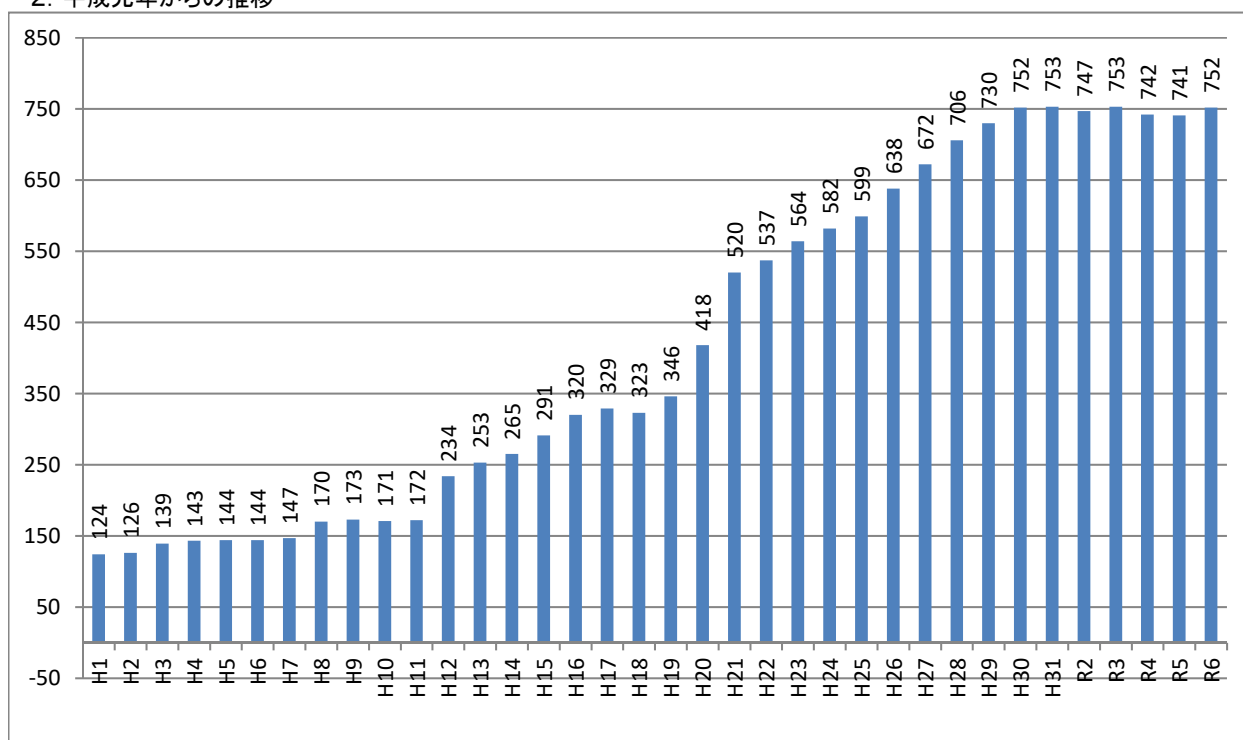
Ⅳ. 職員数の推移

1. 事業部別の推移



	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
老人事業部	373	372	371	371	372	376
養護・障がい事業部	161	164	168	168	164	170
児童事業部	180	186	191	188	192	193
事務局	39	25	23	15	13	13
合計	753	747	753	742	741	752

2. 平成元年からの推移



事業報告 : 松葉寮

事業活動収支推移

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
収入(円)	425,590,703	443,179,379	423,291,719	434,078,487
支出(円)	387,349,595	402,877,615	391,263,097	408,521,670
差額	38,241,108	40,301,764	32,028,622	25,556,817

○状況

- ・介護報酬改定により、単価が上がったことによる収入増があったが、入退所が続き、ロングショートから入所へとなるケースが続き、短期入所の稼働が下がった。
- ・支出は、賃上げ、物価高騰の影響もあり増加となっている。

人件費積立金 : 3,800,000円

利用者推移

特 養	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
利用者(人)	26,347	26,797	26,576	26,410
前年比(%)	99.9%	101.7%	99.2%	99.4%

短 期	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
利用者(人)	5,740	5,529	6,502	5,908
前年比(%)	99.8%	96.3%	117.6%	90.9%

○状況

- ・特養は、昨年度と比べ入退所が7名(37名)多く、出来る限り短い期間での入所に努めたが、入院者もあり利用者数が若干減った。
- ・短期は、利用者、ご家族のニーズに答えるよう対応し、ロングでの利用者も受け入れたが、そのほとんどが特養待ちの方であったため、特養への施設内移動となり稼働が悪くなった。

施設整備

- ・業務用乾燥機(リース)
- ・フルリクライニング車椅子3台
- ・ポジショニングクッション(3種各10個)

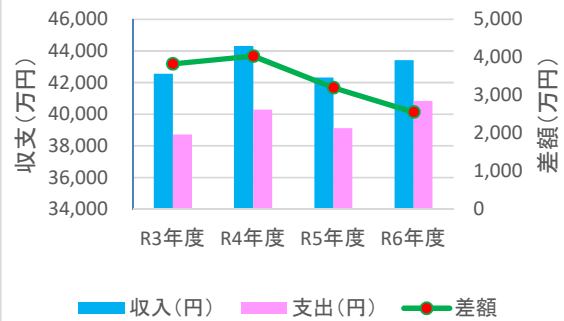
人材育成・研修

- ・施設内研修は、年間を通し基準で定められた研修及び訓練を行った。
- ・施設外研修は、岐阜で行われた全国大会をはじめ、年間を通じて様々な研修に参加することができた。

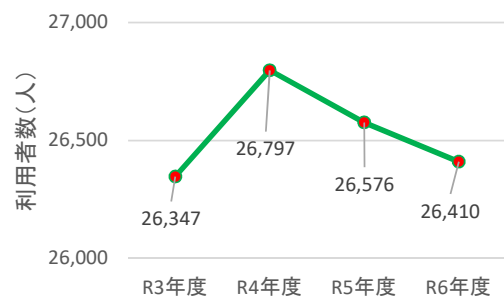
トピックス

- ・5月より歯科衛生士を雇用し口腔内の清潔、ケアに取り組んでいる。
- ・施設内行事として、家族を招待し忘年会を企画するも、インフルエンザ施設内感染があり中止となる。
- ・11月ネグレストによる虐待があり措置入所受入。
- ・12月よりEPA介護福祉士候補生(フィリピン)就労開始

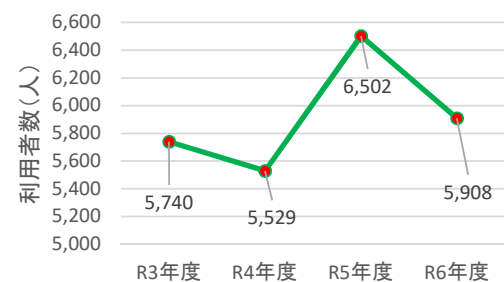
事業活動収支推移



利用者推移(特養)



利用者推移(短期)



事業報告 : 開明の杜

事業活動収支推移				
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
収入(円)	247,630,410	247,608,087	252,081,183	273,292,959
支出(円)	214,120,880	231,147,748	227,969,513	245,283,054
差額	33,509,530	16,460,339	24,111,670	28,009,905

○状況

全事業で、利用者数は前年度並みかそれ以上の数字が出ているが、人件費や修繕費、物価の高騰だけでなく、職員住宅ソレイユⅡの改修費用といった大きな出費もあり、思うような活動収支の伸びには繋がらなかった。

- ・開明の杜: 平均要介護度4.2。待機者整理や新たな加算の検討が必要。
- ・短期入所: 職員一丸の受け入れ体制で稼働率は伸びた。平均要介護度2.8。リハビリ機能も売りにして、稼働率を維持したい。
- ・居宅介護支援事業所: 安定運営だが、まだまだ経営努力が可能。工夫はしたが、全体の件数が伸びなかった。意識を高く持ち対応したい。
- ・ヘルパーステーション: 勤務の調整が難しい職員が多く苦戦。事業の方向性も含め検討が必要。

利用者推移				
特 養	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
利用者(人)	10,186	10,168	10,384	10,272
前年比(%)	99.1%	99.8%	102.1%	98.9%
短 期	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
利用者(人)	3,229	3,155	3,281	3,358
前年比(%)	94.8%	97.7%	104.0%	102.3%
居 宅	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
利用者(人)	2,624	2,606	2,632	3,244
前年比(%)	99.8%	99.3%	101.0%	123.3%
訪問介護	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
利用者(人)	4,334	3,936	3,951	4,002
前年比(%)	117.2%	90.8%	100.4%	101.3%

○状況

- ・開明の杜: 嘱託医に相談しながら看護師を中心に健康管理は行っており、入院者の抑制となった。入院時も協力医療機関等と連携して、早期の退院にも対応することで稼働率維持に努めた。退所後の空床にも迅速に対応できている。
- ・短期入所: ほぼ100%の稼働率で予定を組み、キャンセルにもすぐに柔軟に対応。緊急性の高い方はなるべく受け入れていく方向で対応しており稼働率に繋がった。新型コロナ罹患の影響も最小限に抑えることができた。
- ・居宅介護支援事業所: 7月から介護支援専門員が増え利用者数は増加したが、総合・要支援の方を要介護に換算しての職員1人辺りの件数としては、昨年度よりも低下した。現状分析を行い、より地域から求められる事業所となり利用者数の増加を目指したい。
- ・ヘルパーステーション: 利用者数は微増。登録ヘルパーを迎い入れ柔軟な対応が可能と思われたが、高齢の職員や、働き方もあって、思う様に業務の効率化、利用者数の増加には繋がらなかった。

施設整備

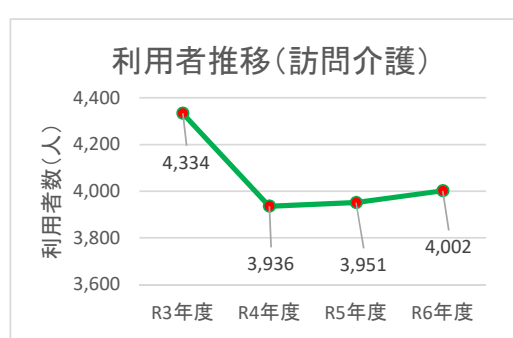
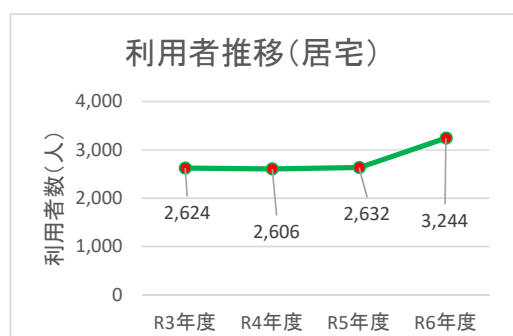
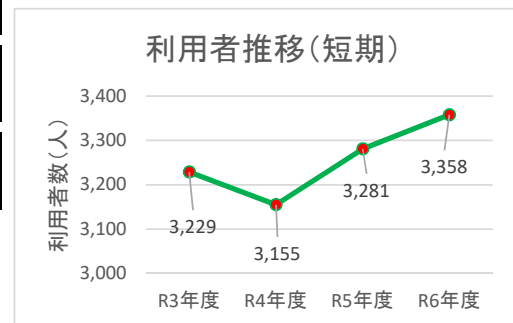
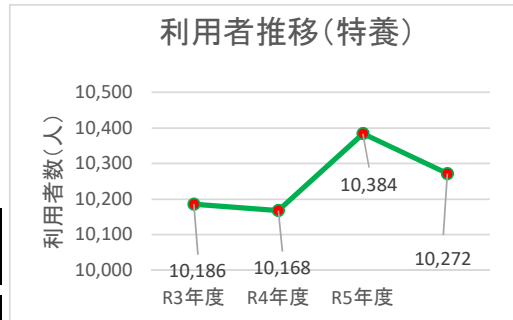
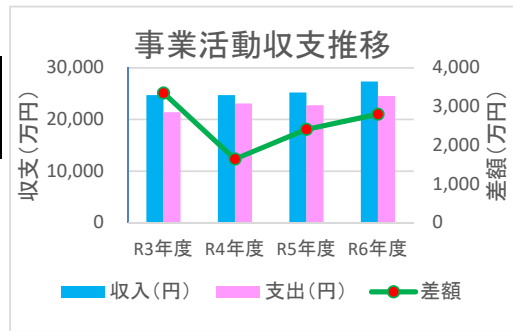
- ・食事前トレイ80枚
- ・ティルト&リクライニング車椅子4台他
- ・エアマット4台
- ・居宅陽だまりの固定電話増設
- ・温冷配膳車修繕
- ・屋外喫煙所整備(屋根・目隠し)
- ・保冷軽公用車(スズキキャリイ)修繕
- ・ヘルパー軽公用車(スズキアルト)修繕
- ・ソレイユⅡ改築

人材育成・研修

- ・老施協の研修会も全国大会をはじめ、各種研修に積極的に参加した。法人内研修も含め、各職員に合った研修を選んで参加する様にした。
- ・必須のケアマネの更新研修、ユニットケアに必要なユニットリーダー研修や実施研修、技能実習指導員講習等にも参加した。
- ・内部研修は、義務化の研修を中心に動画視聴も活用して実施した。

トピックス

- ・他法人からの吸収合併により、4月からヘルパーまつばに登録ヘルパー4名、7月からは居宅陽だまりに介護支援専門員3名が移籍(増員)した。
- ・旧松葉診療所を改修して職員住宅ソレイユⅡとし、管理については開明の杜が担当となる。



事業報告 : 皆楽園

事業活動収支推移

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
収入(円)	325,613,031	336,019,190	336,901,174	338,609,179
支出(円)	309,735,647	320,812,765	307,595,563	325,075,202
差額	15,877,384	15,206,425	29,305,611	13,533,977

○状況

・特養は、昨年度と比較すると稼働率は横ばいであり、短期、通所は稼働率が低下している。特養は、収入増となったが、支出が多く収支差額が厳しい状況。短期は、稼働率が前年度と比較すると下がった為、収入が減となっている。通所は、稼働率減となり、収支も厳しく状況。結果、拠点としてはかなり厳しい事業活動収支差額となった。

・収入は、特養では長期入院を防ぐ事ができず苦戦したが、報酬改定の年で増となった。短期では、ロングショートから特養へスムーズに入所を行っていたが、特養の退所者が多く、ロングショートが減り稼働率が安定できなかった。通所ではケアマネと連携を取りながら効率よく稼働したが、突発的な感染症等で団体欠席もあり、思う様には稼働率を上げる事ができなかった。支出は人件費の増額、光熱費や消耗品の高騰、施設備品の更新、老朽化による修繕や買換え、実習生の住環境整備などがあり、収支差額への影響が大きく出た。

利用者推移

特 養	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
利用者(人)	17,974	17,797	17,700	17,698
前年比(%)	99.0%	99.0%	99.5%	100.0%

短 期	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
利用者(人)	2,567	2,832	3,091	2,849
前年比(%)	100.9%	110.3%	109.1%	92.2%

通 所	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
利用者(人)	4,135	4,273	4,629	4,181
前年比(%)	104.1%	103.3%	108.3%	90.3%

○状況

・稼働率は特養97.0%、短期78.0%、通所75.0%であった。
・特養に関しては、長期入院や退所入所の対応が少し遅れた場面もあったが前年度と比較すると横ばいとなった。短期はロングショートの活用により、ある程度の稼働率は確保できたが、年度途中からロングショートが少なくなり稼働率が低下した。通所は、感染症等の影響で、団体キャンセルがあり稼働率の低下を防げなかった。事業所連携を密に取り、今後も工夫をして稼働率が向上する対応をしていきたい。

施設整備

- ・実習生宅エアコン2台
- ・自動水栓一体型電気温水器1台
- ・のじぎく・カンナユニットリビングエアコン修理
- ・さくら・カンナユニット共用部空調機修繕

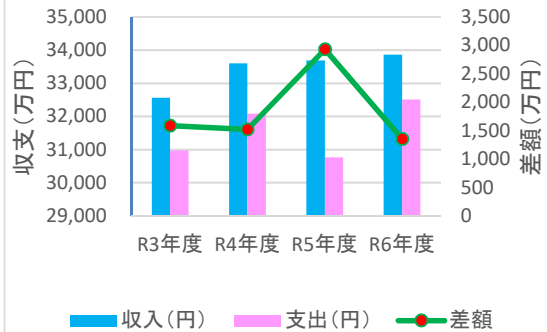
人材育成・研修

- ・外部研修をコロナ前の様に実施できている。施設内研修は、動画視聴など行いながら職員の負担にならないよう配慮しながら実施した。
- ・大王製紙のアテントマイスター研修は継続して力を入れている。
- ・実務者研修、介護福祉士等に積極的に受講、受験して資格取得に繋がっている。・技能実習生も日本語検定N3試験1名、N2試験1名、技能実習評価試験(専門級)4名が合格した。

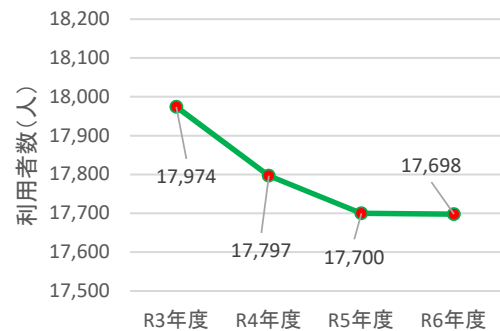
トピックス

- ・現在、土木事務所による施設南側の急傾斜地崩壊防止工事が行われている。
- ・今年度、2名の技能実習生を受け入れ予定。

事業活動収支推移



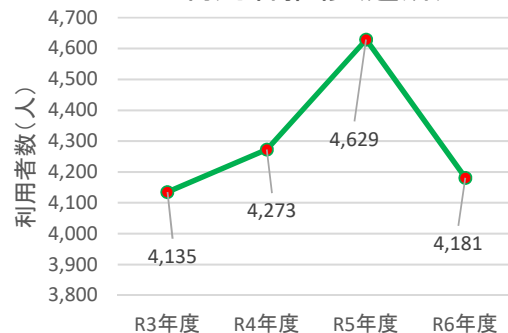
利用者推移(特養)



利用者推移(短期)



利用者推移(通所)



事業報告 : あけはま荘

事業活動収支推移

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
収入(円)	441,955,396	435,103,272	406,683,138	415,771,034
支出(円)	394,334,034	395,240,777	395,435,521	394,514,319
差額	47,621,362	39,862,495	11,247,617	21,256,715

○状況

介護保険事業収入に関しては、稼働率と要介護3の割合が増えたことによる減収により上半期の収入が伸び悩んだ。支出に関しては物価や水道光熱費の高騰、人件費が逆風となり抑えることが難しかった。また、ボイラー入替をはじめ経年劣化等で設備の更新も多かったため、介護ロボット等の新しい導入は最小限に留めた。短期入所は稼働率が良く好調であったが、特養満床後は空室の調整に難航している。通所事業は、利用者の獲得が伸びていない。事業所の特徴を作り営業活動も強化していく。

利用者推移

特 養	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
利用者(人)	30,494	29,727	30,062	29,304
前年比(%)	99.7%	97.5%	101.1%	97.5%

短 期	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
利用者(人)	1,775	1,549	1,369	1,766
前年比(%)	102.1%	87.3%	88.4%	129.0%

通 所	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
利用者(人)	4,660	3,996	2,558	2,700
前年比(%)	108.2%	85.8%	64.0%	105.6%

○状況

特養は、毎月3名から5名程度の退所者があり、合計45名の退所者を出したことで、新規入所がスムーズに行かないことが多かった。また、9月にはコロナウイルスクラスターが発生。満床となったのが11月。下半期は満床に近い利用数で推移し収入は回復。短期入所は、上半期に空床を使用した利用もあり、昨年より400件上回った。定員5に対し4.8名の利用があった。通所介護は、定員18名ではあるが一日平均8.7名の利用。三瓶町からの受入れを開始したが、思うように利用が伸びなかった。利用者の重度化により、施設入所等への流れが多く利用中止が相次いだ。新規利用者は17名。

施設整備

- ・温水ボイラー更新 ・ スチームコンベクションオープン
- ・排泄動作支援機器「サツイレ」 ・ 汚物除去機
- ・介護用ベッド3台 ・ 給湯器 ・ 車椅子9台

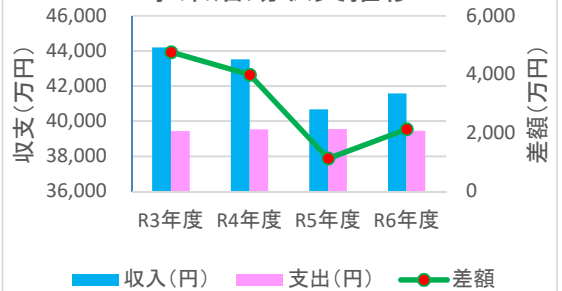
人材育成・研修

- ・外部への研修に率先して参加。県内外へ54の研修に89名の職員が参加した。
- ・事業所内での研修会を計画的に実施した。

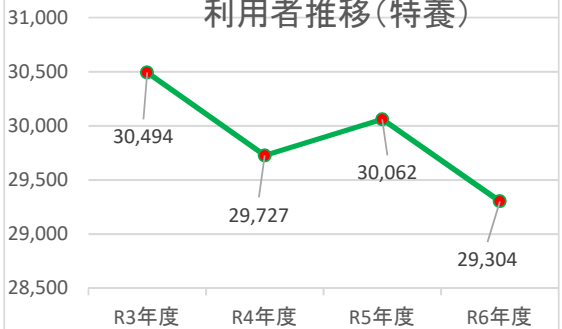
トピックス

- ・クラスター…9月特養コロナ、12月通所インフルエンザ
- ・スカイリフト(介護ロボット)転倒事故発生…同日夜に逝去。
- ・明浜中学校…6月認知症キャラバンメイト、11月巡回型介護教室。
- ・盆踊り大会「歌舞伎くずし」5年ぶりの開催。地域の方も大勢参加。
- ・地震津波(夜間防災)訓練…地域合同実施し、福祉避難所も開設。
- ・6年ぶりに「家族会」を開催…20家族が参加。事業報告等を発表。

事業活動収支推移



利用者推移(特養)



利用者推移(短期)



利用者推移(通所)



事業報告 : 宇和デイ

事業活動収支推移

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
収入(円)	299,991,149	284,787,624	411,715,855	332,368,321
支出(円)	297,185,206	297,591,075	431,055,628	341,978,210
差額	2,805,943	△ 12,803,451	△ 19,339,773	△ 9,609,889

○状況

利用実績に応じた人員配置の低減をはじめとしたコストカットは一定の効果が得られたものの、訪問看護の人員費率が拠点全体の経営状況に影響した。

通所歩については、現状の支出を維持しながら0.8名/日程度の実績増が必要だが、実現不可能な数字ではない。

福祉の里については、収入が著しく不足しており、今後の機能訓練機能や療養管理体制等の中重度高齢者が主たる顧客である福祉の里に求められる本来保有すべき機能を取り戻し、ニーズに応じていくことが必要。

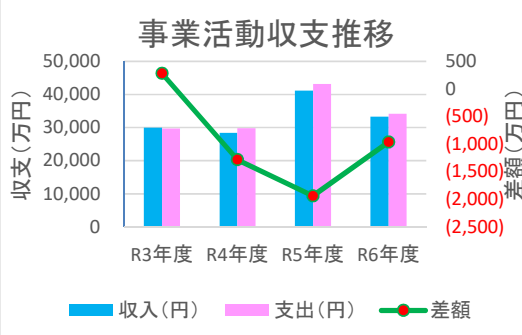
利用者推移

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
利用者(人)	35,335	34,501	38,473	36,434
前年比(%)	103.6%	97.6%	111.5%	94.7%

○状況

令和5年度より運営を開始した蘭を除いた利用者数は令和6年度33,021名となっており、令和4年度比較87.6%、令和5年度比較93.5%と2,000名ずつ減少している。内訳としては令和5年度比較でなほし、あんしんの家、うつのみやさんの家は改善傾向にあるが、福祉の里と歩の著しい実績減が影響している。

福祉の里の利用ニーズであるレスパイトに対する受入可能日の制限、ADL維持向上機能の低下など、在宅介護を支える根幹の機能が低下していることが事業圏域の人口減少と相まって影響しており、歩も同様の原因が考えられる。



事業所別 事業活動収支推移

福祉の里	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
収入(円)	105,114,700	85,038,169	78,536,789	64,749,672
支出(円)	98,657,374	94,379,842	82,463,710	64,973,527
差額	6,457,326	△ 9,341,673	△ 3,926,921	△ 223,855

陽より	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
収入(円)	3,401,207	5,137,091	78,536,789	4,042,677
支出(円)	8,284,513	8,815,007	82,463,710	6,599,310
差額	△ 4,883,306	△ 3,677,916	△ 3,926,921	△ 2,556,633

ななほし中川	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
収入(円)	41,669,849	41,361,645	39,786,932	45,630,183
支出(円)	42,681,720	43,015,605	44,222,875	45,558,629
差額	△ 1,011,871	△ 1,653,960	△ 4,435,943	71,554

うつのみやさんの家	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
収入(円)	38,220,841	39,114,969	38,478,313	39,980,927
支出(円)	35,637,219	35,261,470	35,632,467	37,263,091
差額	2,583,622	3,853,499	2,845,846	2,717,836

あんしんの家	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
収入(円)	48,108,374	46,581,659	40,257,766	44,868,982
支出(円)	47,499,483	43,901,735	42,170,434	47,663,191
差額	608,891	2,679,924	△ 1,912,668	△ 2,794,209

歩(通所)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
収入(円)	41,515,284	38,195,048	37,188,391	31,462,044
支出(円)	42,610,707	38,145,890	36,636,140	33,494,227
差額	△ 1,095,423	49,158	552,251	△ 2,032,183

歩(訪問看護)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
収入(円)	21,960,894	29,359,043	28,015,918	26,064,910
支出(円)	21,814,190	34,071,526	32,635,819	33,836,388
差額	146,704	△ 4,712,483	△ 4,619,901	△ 7,771,478

蘭	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
収入(円)	-	-	70,914,957	75,568,926
支出(円)	-	-	74,830,473	72,589,847
差額	-	-	△ 3,915,516	2,979,079

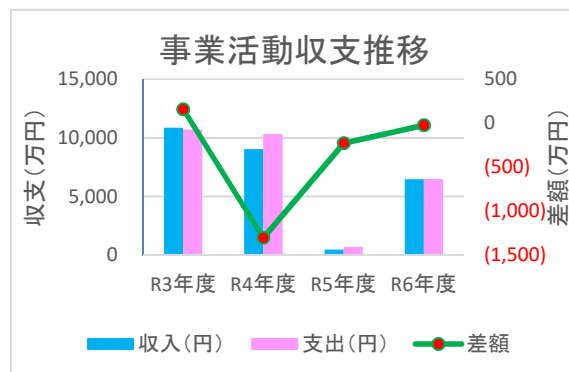
事業報告 : 福祉の里 G

事業活動収支推移

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
収入(円)	108,515,907	90,175,260	4,829,040	64,749,672
支出(円)	106,941,887	103,194,849	7,100,874	64,973,527
差額	1,574,020	△ 13,019,589	△ 2,271,834	△ 223,855

○状況

営業日を金・日とし、職員数も基準ギリギリにしたものの、思った以上に利用者数が伸びなかった。リハビリ対応ができなかった事も大きな原因と思われる。新年度、リハ職の配置により利用者獲得を目指したい。



利用者推移

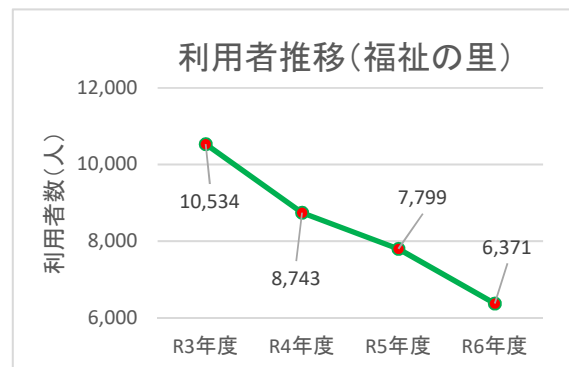
福祉の里	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
利用者(人)	10,534	8,743	7,799	6,371
前年比(%)	100.4%	83.0%	89.2%	81.7%

陽より	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
利用者(人)	860	1,295	1,205	1,014
前年比(%)	-	150.6%	93.1%	84.1%

○状況

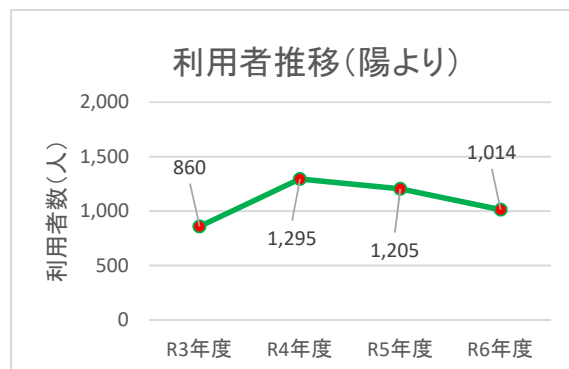
利用者数の伸びが悪く、リハビリ目的で他の事業所に移られる方もいた。その上、感染症の罹患で介護職員が確保できず営業を中止にせざるを得ない状況や、降雪による受け入れの制限等もあり、厳しい状況が続いてしまう。

介護度の高い方を受け入れる反動として、体調不良や入院・入所等で、退所になる比率も高かった。リハビリ等新年度に向けて体制を整え、経営の立て直しを図りたい。



施設整備

- ・送迎車両パワーリフト修繕
- ・静養室設置エアコン更新



人材育成・研修

- ・法人内各種研修
- ・新型コロナウイルス感染防止を目的にグループ全体会は控え施設毎の研修を実施。

トピックス

特になし

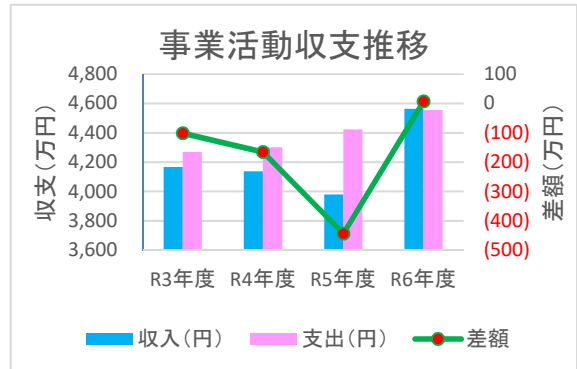
事業報告 : ななほし中川

事業活動収支推移

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
収入(円)	41,669,849	41,361,645	39,786,932	45,630,183
支出(円)	42,681,720	43,015,605	44,222,875	45,558,629
差額	△ 1,011,871	△ 1,653,960	△ 4,435,943	71,554

○状況

前年度と比較して実績の回復がみられ、人件費も抑制されたことで、収支差額は改善傾向にある。



利用者推移

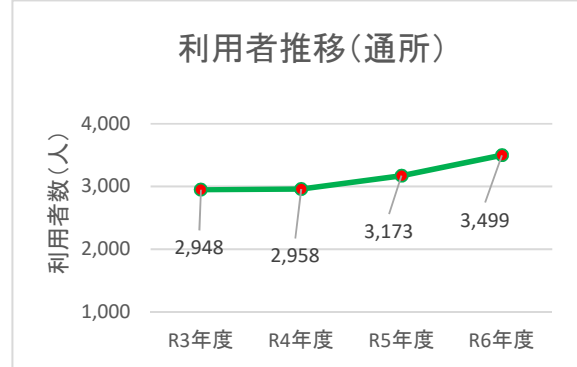
通 所	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
利用者(人)	2,948	2,958	3,173	3,499
前年比(%)	87.3%	100.3%	107.3%	110.3%

短 期	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
利用者(人)	1,302	1,322	1,088	1,188
前年比(%)	94.2%	101.5%	82.3%	109.2%

○状況

通所介護実績は増加傾向にある。一方で、昨年度に続いて短期入所の実績は低水準で横這いとなっている。

短期入所の利用予定日調整を行い、利用実績のない日に夜勤配置を行わないことで、人件費抑制を図っている。
事業圏域の将来的な利用ニーズの動向を鑑みた人口減少に伴う実績状況に応じた職員配置の適正化が一定の効果としてあらわれている。



施設整備

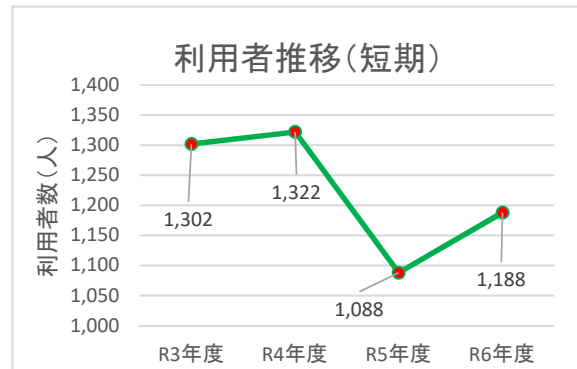
特になし

人材育成・研修

- ・法人内各種研修
- ・新型コロナウイルス感染防止を目的にグループ全体会は控え施設毎の研修を実施。

トピックス

特になし



事業報告 : うつのみやさんの家

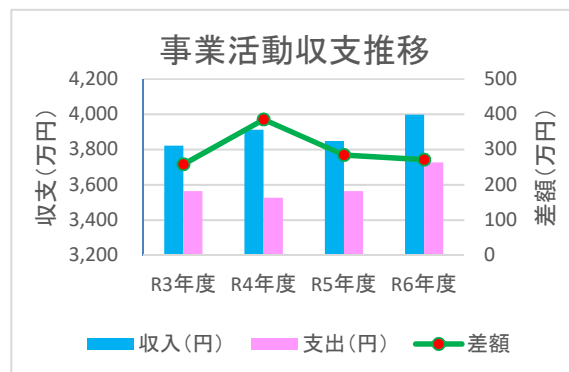
事業活動収支推移

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
収入(円)	38,220,841	39,114,969	38,478,313	39,980,927
支出(円)	35,637,219	35,261,470	35,632,467	37,263,091
差額	2,583,622	3,853,499	2,845,846	2,717,836

○状況

稼働率96.1%

入院者及び日数の減少及び円滑な入所契約ができており、人件費が増加しているが、それを上回る収入状況の改善が見込まれている。



利用者推移

G H	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
利用者(人)	3,248	3,252	3,229	3,218
前年比(%)	102.3%	100.1%	99.3%	99.7%

○状況

入所待機者は、入所案内のタイミングで契約を見送るケースが度々みられるが、何とか待機者の中で円滑な入所契約が行えている。今後は上位待機者に対し、事前に意向確認をこまめに行い、円滑な入所に対してのより積極的な取り組みが必要であると考えている。



施設整備

・リビングの空調更新。

人材育成・研修

・法人内各種研修
・新型コロナウイルス感染防止を目的にグループ全体会は控え施設毎の研修を実施。

トピックス

・特になし

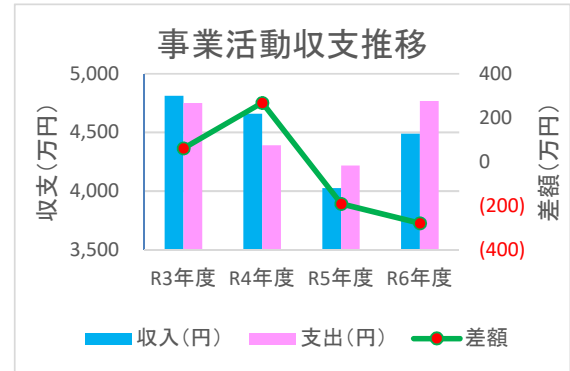
事業報告 : あんしんの家

事業活動収支推移

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
収入(円)	48,108,374	46,581,659	40,257,766	44,868,982
支出(円)	47,499,483	43,901,735	42,170,434	47,663,191
差額	608,891	2,679,924	△ 1,912,668	△ 2,794,209

○状況

収入は増加傾向にあるが、人件費支出が増加している。
人員配置基準に過不足のない適正な配置となっており、令和6年度下半期の実績を維持できれば、安定した収支状況となることが見込まれる。



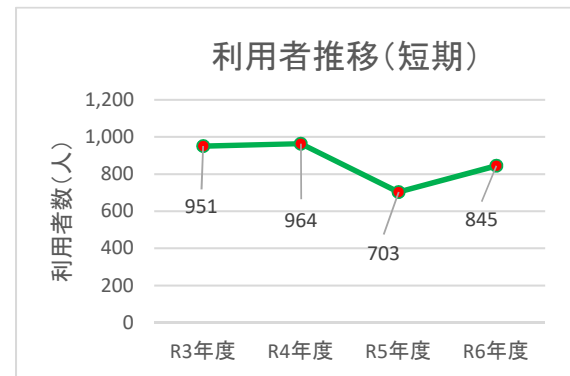
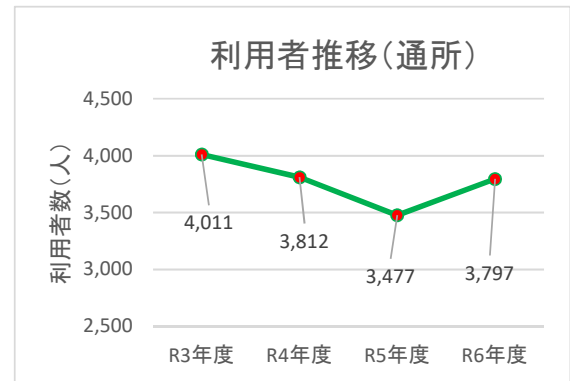
利用者推移

通 所	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
利用者(人)	4,011	3,812	3,477	3,797
前年比(%)	105.3%	95.0%	91.2%	109.2%

短 期	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
利用者(人)	951	964	703	845
前年比(%)	82.1%	101.4%	72.9%	120.2%

○状況

短期入所と併設している通所介護事業として、レスパイト目的が主たる利用ニーズとなるが、特養等の入所系施設の待期期間の短縮により低い水準のまま推移している。



施設整備

特になし

人材育成・研修

- ・法人内各種研修
- ・新型コロナウイルス感染防止を目的にグループ全体会は控え施設毎の研修を実施。

トピックス

特になし

事業報告 : 歩

事業活動収支推移

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
収入(円)	63,476,178	67,554,091	65,204,309	57,526,954
支出(円)	64,424,897	72,217,416	69,271,959	67,330,615
差額	△ 948,719	△ 4,663,325	△ 4,067,650	△ 9,803,661

○状況

通所・訪問ともに支出超過。訪問看護閉鎖に向けての利用者他施設利用に移行したことにより、収入減が最も要因。通所は職員減により支出を抑えられたが、減収幅が大きくなった。

訪問看護は令和6年度末閉鎖。

現在、通所利用件数増に向け、ICTの一環として新ソフト導入し、業務の見直し・加算算定を進めている。

利用者推移

通 所	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
利用者(人)	7,749	7,310	7,158	6,367
前年比(%)	105.7%	94.3%	97.9%	88.9%

訪問看護	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
利用者(人)	3,732	4,845	4,593	4,269
前年比(%)	110.5%	129.8%	94.8%	92.9%

○状況

通所に関して、利用件数減。職員1名減となり、機能訓練・送迎・事務処理等が負担増となり、新規利用者の受け入れに支障をきたす要因となったことが最大の事由と考える。合わせて冬の積雪やコロナ・インフルエンザ罹患による利用控えが年間を通し、発生していた。

訪問看護は令和6年度をもって閉鎖。

施設整備

特になし

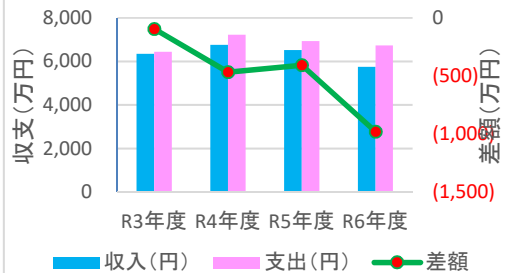
人材育成・研修

日中の法人内研修は、内容について精査し、可能な範囲で参加するようにしているが、現状参加困難。施設内研修会は必要な内容を年間計画立てて、職員会と合わせて開催するようにしている。

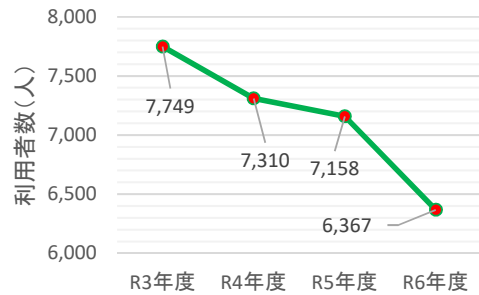
トピックス

通所・看護ともに稼働が若干低下しているが、コロナ等感染症の罹患者を増やすことなく善処できている。支出を抑えることで、収入減以上のマイナス差額を抑えることができた。健全経営を目指すにあたり、訪問の稼働改善に何らかの対策を検討実施していく必要がある。新規を受け入れる為、居宅などへ働きかけを行いつつ、業務の効率化を図っていく。

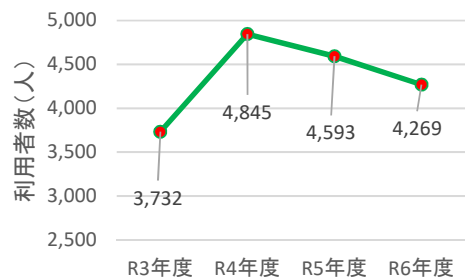
事業活動収支推移



利用者推移(通所)



利用者推移(訪問看護)



事業報告 : 蘭

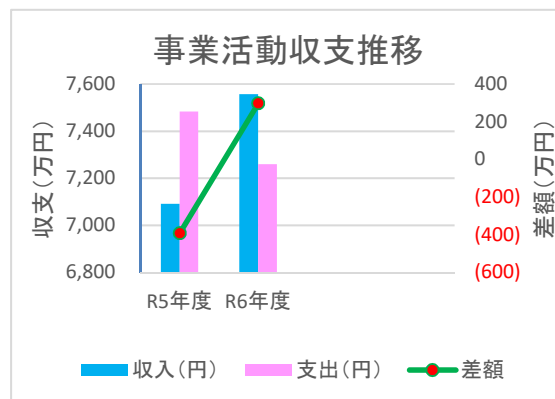
事業活動収支推移

	R5年度	R6年度		
収入(円)	70,914,957	75,568,926		
支出(円)	74,830,473	72,589,847		
差額	△ 3,915,516	2,979,079		

○状況

稼働率95%

介護保険収入は増加傾向にあり、今年度は支出も少なく推移しており、収支状況は改善傾向にある。



利用者推移

G H	R5年度	R6年度		
利用者(人)	6,148	6,255		
前年比(%)	-	101.7%		

○状況

入所待機者は、入所案内のタイミングで契約を見送るケースがみられるが、何とか待機者の中で円滑な入所契約が行えている。今後は上位待機者に対し、事前に意向確認をこまめに行い、円滑な入所に対してのより積極的な取り組みが必要であると考えている。



施設整備

・リビング空調の更新

人材育成・研修

・法人内各種研修
・新型コロナウイルス感染防止を目的にグループ全体会は控え施設毎の研修を実施。

トピックス

令和5年4月より法人の施設として運営開始。

事業報告 : ケアハウスれんげ

事業活動収支推移

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
収入(円)	69,230,946	76,044,625	71,784,746	78,455,225
支出(円)	63,532,910	66,719,857	64,454,359	66,335,133
差額	5,698,036	9,324,768	7,330,387	12,120,092

○状況

- ・原因:入院日数や空室期間が増加したことにより、稼働率が96.2%と前年度(98.0%)を下回ることになった。
- ・前年度と比較し一般利用は減少(31%→25%)し、特定利用は増加(69%→75%)した。
- ・特定利用のうち要介護者の割合(67%)が前年度(59%)と比較して増加し、要支援者の割合は前年度と比較して減少した。
- ・動向:物価高騰により運営コストが上昇した。

施設・設備整備積立金:50,000,000円

利用者推移

軽費	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
利用者(人)	10,595	10,794	10,758	10,539
前年比(%)	97.7%	101.9%	99.7%	98.0%

○状況

- ・原因:年間の入院延日数が304日と前年度(178日)と比較し大幅に増加しており、また退居から入居までの空室期間が89日間と前年度(27日間)と比較し3倍程度に増加したことが稼働率の低下につながった。さらに、1件当たりの平均空室期間が14.8日と前年度(6.8日)に比べ入居までの期間が長くなっている。
- ・退居者の6名(前年度4名)については、1名は入院の継続、2名は特養への入所、3名は施設での看取りによる退居となっている。
- ・ニーズ等:待機者として、前年度と同じく約130名程度で推移している。

施設整備

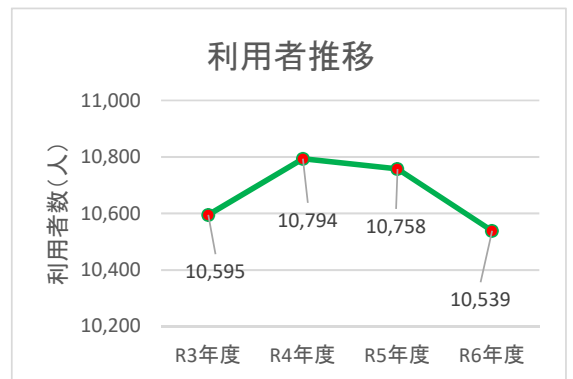
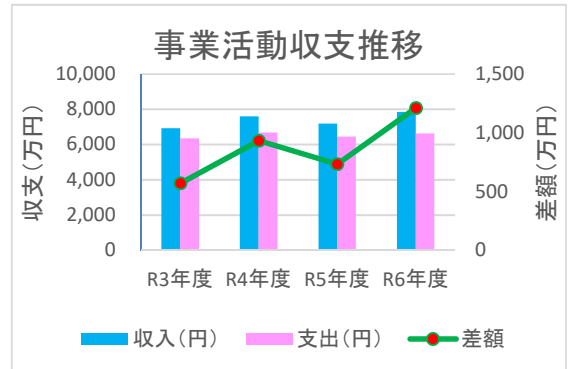
- ・居室エアコン更新3台(101号室、104号室、126号室)
平成26年度からはじめた全28室(30台)の居室エアコンの更新が今年度末で完了した。
- ・電動3モーターベッドの更新2台
- ・洗濯機の更新1台
- ・集合TVブースターの更新2台

人材育成・研修

- ・認知症介護実践者研修に参加
- ・四国老人福祉施設関係者研究大会に参加
- ・四国老人福祉施設協議会セミナーに参加
- ・内部職員会による研修

トピックス

- ・介護度の高い人の利用割合が増加している。
- ・看取りで退居となる方が今年度3名と多くなっている。
- ・認知症が疑われる方が多くなる傾向にある。
- ・入居者30名の平均年齢は90歳台を維持している。



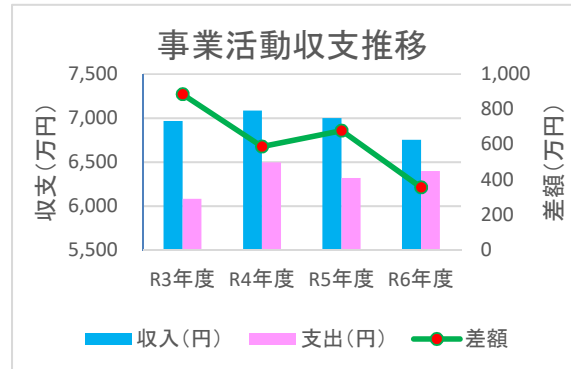
事業報告 : ケアハウスはまゆう

事業活動収支推移

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
収入(円)	69,680,282	70,851,417	69,989,086	67,545,422
支出(円)	60,822,949	64,956,701	63,194,437	63,981,135
差額	8,857,333	5,894,716	6,794,649	3,564,287

○状況

入退所や入院が多く、また、入居者の平均介護度の低下もあり収入は減少している。大きな修繕はなく支出は抑えられているが、電気代や燃料費の高騰が続いている。人件費についても職員数は少ないが高賃金の職員が多く、人件費はそれほど減少しておらず、結果として支出の増加につながってしまっている。夜勤専門員の雇用や、若手の正職員への異動など、人件費を圧縮する工夫が必要となっている。

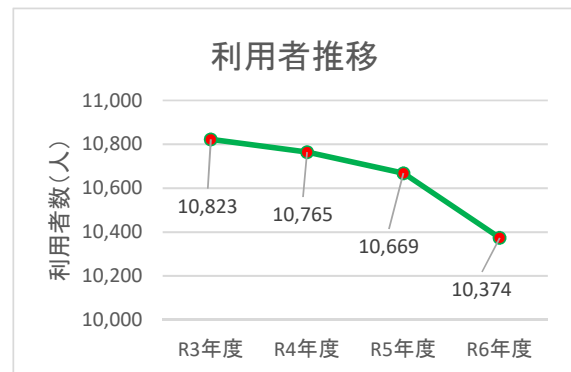


利用者推移

軽 費	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
利用者(人)	10,823	10,765	10,669	10,374
前年比(%)	100.4%	99.5%	99.1%	97.2%

○状況

年間の入退居者が13名と非常に多かった。コロナ禍も落ち着き外泊も増えてきている。入院の方も7名おられ、稼働率の低下につながってしまった。



施設整備

- ・エレベーター修繕
- ・厨房スチコン修繕
- ・ホールテレビ買替

人材育成・研修

- ・OJTの推進
- ・内部職員会

トピックス

- ・エレベーター、非常用電源装置も含め施設全体の老朽化が問題として浮上している。

事業報告 : 三楽園

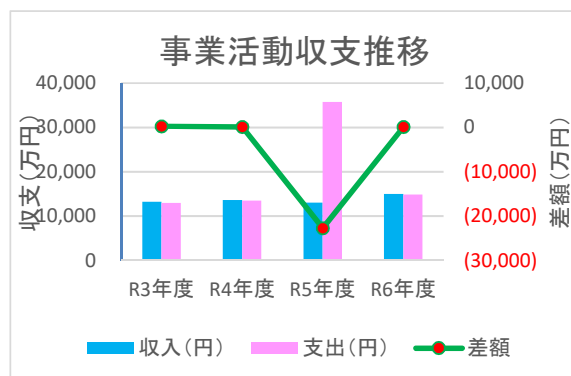
事業活動収支推移

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
収入(円)	132,391,983	136,481,943	130,154,041	149,676,650
支出(円)	129,701,555	135,048,166	356,965,688	148,267,313
差額	2,690,428	1,433,777	△ 226,811,647	1,409,337

○状況

収入: 前年度比較△58%の減は、前年度新築費用支払いに伴うものであり、措置事業としての収入は、稼働率95%を確保していることから大きな減額もなく経営ができています。

支出: 前年度比較58.%増は、新築備品支払に係る増額によるものである。人件費についても前年度比較で伸び率4.8%の増は、ベースアップ等による増額である。



施設・設備整備積立金(一部)取崩 : 34,000,000円

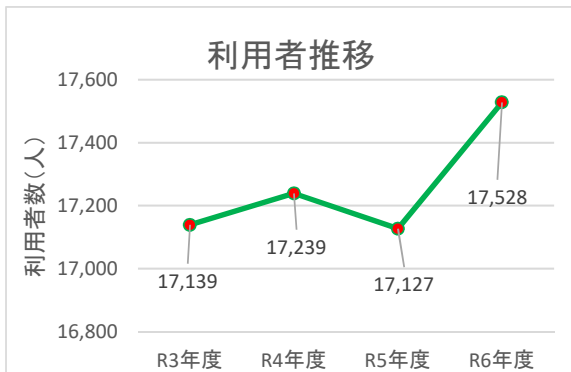
利用者推移

養 護	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
利用者(人)	17,139	17,239	17,127	17,528
前年比(%)	97.9%	100.6%	99.4%	102.3%

○状況

・年間平均利用者数は、47.96名と前年度と比較し102%と増。入院が前年度比較△6.5%と年間43名にあったことによる。年間延べ人員も前年度と比較し401名増え、稼働率は平均で96%となった。

・ADL、QOLの低下から、入院治療が必要な利用者も増加傾向にあり、過去4年間を見ても年間で40名程の入院者数となっている。



施設整備

三楽園新築に伴う経費 927,156,765円

- ・五洋建設(株) 工事費 866,560,000円
- ・(株)大建設工務 監理料 10,230,000円
- ・ホシザキ四国(株) 厨房機器購入費用 18,678,000円
- ・(株)ヨコハタ 洗濯設備一式購入費用 3,003,000円
- ・四国医療サービス(株) 医療・事務消耗品 25,013,971円
- ・(その他) 物品購入経費 3,671,794円

人材育成・研修

- ・施設内研修は、必須となっている研修会については、Webを活用することで、自分の学びについても提出してもらった。
- ・施設外研修についても、県老協が実施する専門的な技術、知識を習得するための研修に参加した。

トピックス

令和6年11月に新築三楽園が完成を迎え、翌月12月13日に引っ越しを行った。新築は、「海」をイメージした、広く清潔感のある雰囲気、で、職員・利用者様も満足している。これからも、三楽園が利用者様にとって、安らぎある場所になり、家族・地域に信頼される施設となるように努めていきたいと思う。

また、令和7年4月より特定施設入居者生活介護事業所三楽園をスタート。要介護3以上の介護が必要となった利用者様にも質の高い介護の提供ができるように努めていく。

事業報告 : 松葉学園

事業活動収支推移

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
収入(円)	412,984,346	409,443,689	444,261,212	485,086,495
支出(円)	370,865,532	394,771,341	399,989,018	416,271,587
差額	42,118,814	14,672,348	44,272,194	68,814,908

○状況

報酬改定による基本報酬単価増や各加算の見直しもあり、松葉学園、いっとき館、ぼのぼのは、収入が増加した。夢の家については、重い支援区分は単価が増加したが、中・軽度の支援区分については、単価が低い設定となり、利用者数が増えているにも関わらず、収入は減少した。いっとき館については、令和6年度に2名一般就労したため、令和7年度に新たな加算がとれる見込みである。

人件費積立金 : 7,000,000円

利用者推移

入所	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
利用者(人)	25,871	23,906	25,971	25,947
前年比(%)	101.9%	92.4%	108.6%	99.9%

夢の家	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
利用者(人)	13,240	13,203	14,043	14,236
前年比(%)	96.3%	99.7%	106.4%	101.4%

ぼのぼの	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
利用者(人)	4,953	4,887	6,322	7,333
前年比(%)	90.8%	98.7%	129.4%	116.0%

いっとき館	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
利用者(人)	7,233	7,603	7,917	7,396
前年比(%)	99.2%	105.1%	104.1%	93.4%

○状況

松葉学園は、施設入所、生活介護とも利用者数は安定している。短期入所については、長期利用者が増えた。夢の家は、退所や長期入院もあるが、ほぼ定員を満たしている。ぼのぼのは、令和6年度は放課後等デイサービスの利用者数が増加し、児童発達と放課後等デイサービスの人数調整をしながら取り組んでいる。いっとき館については、一般就労で利用が終了した利用者の関係で、若干利用者数が減少しており、新規利用者も受入していく。

施設整備

松葉学園

- ・生ごみ処理機 ・自動火災報知設備 ・女性支援員室床修繕
- ・会議室エアコン ・管理棟更衣室エアコン ・女性職員トイレ取替
- ・大型乾燥機 ・屋外用音響設備追加工事 ・エレベーター部品交換
- ・全熱交換器フィルター交換 ・とんぼユニット居室床と壁修繕
- ・室外機修理 ・玄関タイル修繕 ・空調リモコン不良交換
- ・ぼたるユニット食洗器

夢の家

- ・トイレ取替(なごみ) ・火災報知設備本体取換(みやび・のぞみ)

いっとき館

- ・軽トラリース ・排水ポンプ交換

ぼのぼの

- ・Aルームエアコン ・Wi-Fi工事

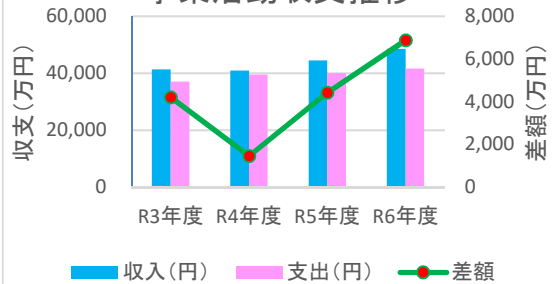
人材育成・研修

- ・強度行動障害、サービス管理責任者研修、また、全国、中・四国及び県福祉協会、南予福祉施設会等で開催される研修に参加
- ・事業部や事業所内でのOJT関連研修実施(他事業所体験実習実施)

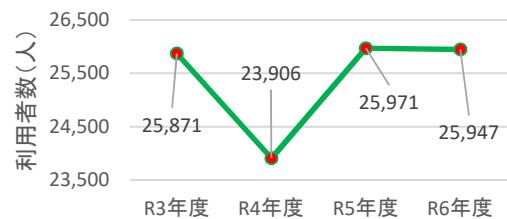
トピックス

・5年ぶりに、地域や家族の方を迎えて、交流行事であるいもたきを開催できた。ズーム利用しながらや室内ではあったがにぎやかに実施することができた。

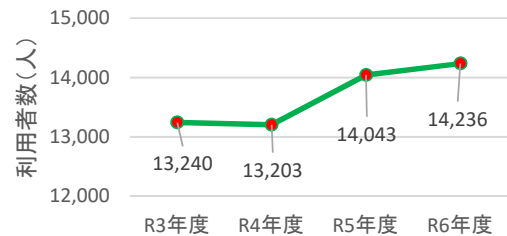
事業活動収支推移



利用者推移(入所)



利用者推移(夢の家)



利用者推移(ぼのぼの)



利用者推移(いっとき館)



事業報告 : 希望の森

事業活動収支推移

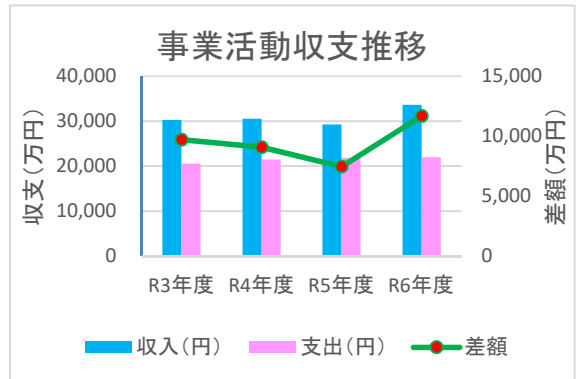
	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
収入(円)	302,483,622	305,121,422	292,595,452	336,319,619
支出(円)	205,343,225	214,422,824	218,063,420	219,581,118
差額	97,140,397	90,698,598	74,532,032	116,738,501

○状況

支援施設については、令和6年4月からの報酬改定により、人員配置区分を1.7:1から1.5:1へ変更したことで報酬単価が上がったことと、重度加算や福祉専門職員配置等加算の算定方法が変わったことで大幅に収入増となった。相談支援についても計画作成件数が増えたことや、主任相談支援専門員配置加算の算定により収入増となっている。

施設・設備整備積立金 : 20,000,000円

人件費積立金 : 30,350,000円



利用者推移

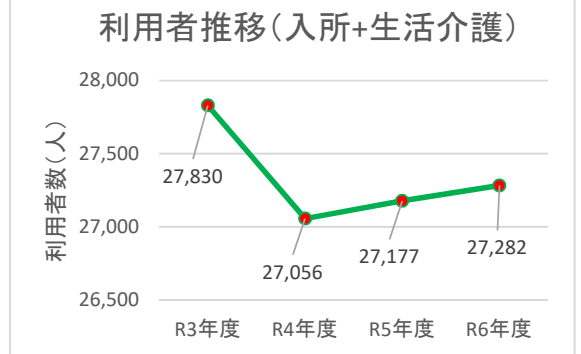
入所+生活介護	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
利用者(人)	27,830	27,056	27,177	27,282
前年比(%)	100.6%	97.2%	100.4%	100.4%

短期	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
利用者(人)	1,413	858	599	705
前年比(%)	103.9%	60.7%	69.8%	117.7%

日中一時	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
利用者(人)	373	276	541	668
前年比(%)	112.3%	74.0%	196.0%	123.5%

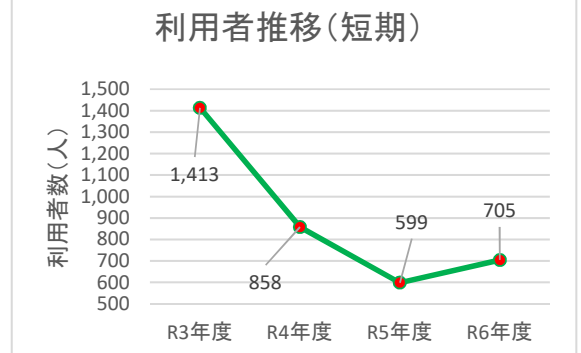
○状況

生活介護・施設入所支援については横ばいの状況である。令和6年5月まで特例的に短期入所(月の日数支給)を利用されていた方がいたこと、定期的に利用される方が増えた為、前年度より短期入所は稼働が上がっている。日中一時については生活介護と併用される方が増えたことと、日曜日の利用状況が良好であるため、前年度より稼働が上がっている。



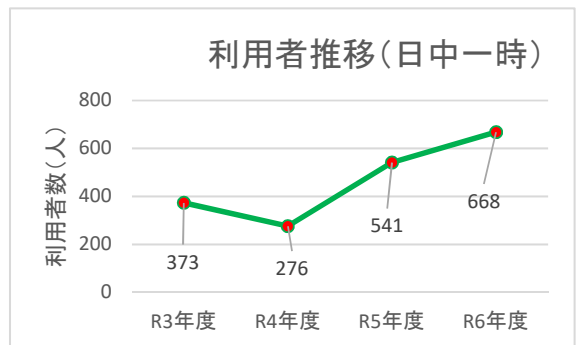
施設整備

- ・公用車(ステップワゴン)リース契約 ・ルームエアコン3か所
- ・玄関自動ドア修繕 ・温水ボイラー修繕
- ・低濃度PCB廃棄物収集運搬・処分



人材育成・研修

- ・「福祉の職場」新任職員研修会
- ・成年後見制度利用促進協議会
- ・中国・四国地区知的障害関係職員研究協議会
- ・愛媛県知的障害者福祉協会職員研修会(第一回、第二回)
- ・南予福祉施設会青年部夏季研修
- ・四国地区知的障害関係職員研修会
- ・南予福祉施設会職員合同研修会



トピックス

令和6年5月より新規入所者を受け入れ満床となる。入所者は高齢化・障がいの重度化が顕著となってきているが、皆さん比較的体調は安定している。最高齢の方については90歳を迎えられている為、介護保険への移行についても検討していく必要がある。施設の老朽化に伴い、修繕箇所が次から次に出てくる状況である。施設の建替えについては施設内の建設委員会より具体的な提案を設計業者に言い、徐々に新施設のイメージが出来てきている。

事業報告 : ひまわりの家

事業活動収支推移

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
収入(円)	209,556,593	211,666,842	216,820,634	218,069,836
支出(円)	159,578,231	158,547,655	156,313,915	163,023,652
差額	49,978,362	53,119,187	60,506,719	55,046,184

○状況

養護・心理ともに暫定定員が1名減となり、児童養護の実人員も12名と減少であるが今年度も安定した経営状態を保つことが出来た。事業活動収支差額は養護・心理の差額合計で約3.5%の減に留まっている。その内訳は、収入が養護0.3%、心理0.9%と共に前年度より微増。収入増は措置費単価の改正が最大の要因。支出は養護が0.5%減。心理が8.0%増。これらの原因は人件費や光熱水費を含めた諸物価高騰によるものである。

人件費積立金 : 43,000,000円

利用者推移

児童養護	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
利用者(人)	6,739	6,048	5,515	4,491
前年比(%)	101.7%	89.7%	91.2%	81.4%

児童心理	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
利用者(人)	2,322	2,360	1,618	2,168
前年比(%)	80.0%	101.6%	68.6%	134.0%

○状況

養護は定員20名に対し4月現員11名のスタートから、9月に1名入所。年度末に高校生3名が就職及び専門学校進学で退所。更に高3生1名を含む兄弟4名が家庭引き取りにより計6名が退所。併設心理治療施設より、1名措置変更と4月1日に1名措置予定で8名スタートとなる。児童心理は定員10名に対し、3名のスタート。4名入所で年度末は7名であったが、1名措置変更で退所。1名児童養護へ措置変更予定。4月上旬に1名新規入所の予定あり。次年度は6名のスタート予定。国・県の施策としての里親委託推進により、措置児童の入所打診件数は減少。

施設整備

- ・24時間テレビ(日本テレビ)から、電動自転車4台と自転車10台の寄贈あり。
- ・防災対策として、ポータブル電源3台整備。児童持ち出し用防災用品を更新

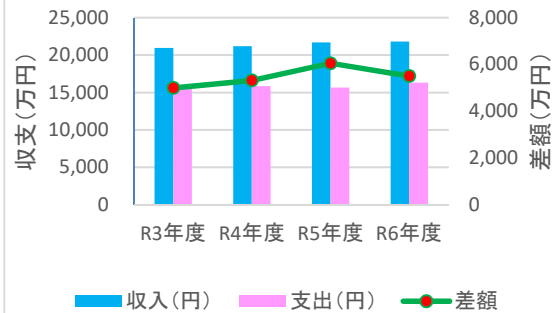
人材育成・研修

- ・夏季に外部講師による研修会を実施。【選択理論】を学び、児童への肯定的な言葉かけの手法を学んだ。
- ・秋、冬に福祉総合支援センター(中児相)心理士から、複数の職員対象に3回シリーズで対人援助技法を学んだ。

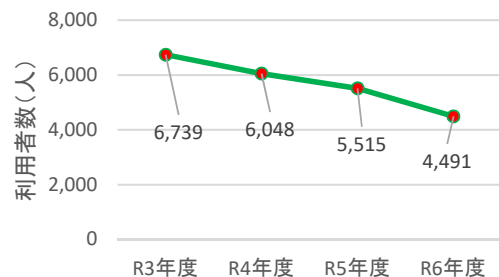
トピックス

- ・5年ぶりにわんぱく祭り開催。地域交流のよい機会となった。
- ・新年度開始から、施設内のPC共有サーバーを活用して、行事計画、会議記録、復命書等の文書について、業務効率化とペーパーレス化を目的とし、電子決裁を開始した。年間を通して、職員も手順に慣れ、電子決裁が浸透し、業務効率とペーパーレス化が図れた。

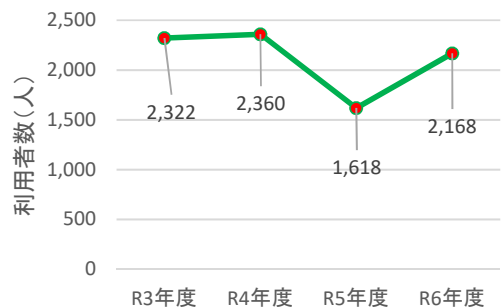
事業活動収支推移



利用者推移(児童養護)



利用者推移(児童心理)



事業報告 : うわまち未来こども園

事業活動収支推移

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
収入(円)	168,673,752	191,835,771	181,481,976	189,522,772
支出(円)	144,278,857	154,730,739	150,518,414	166,152,548
差額	24,394,895	37,105,032	30,963,562	23,370,224

○状況

・0歳児を多く受け入れたが、全体的に人数の減少がみられているため、経営的には伸び悩んだ。

施設・設備整備積立金 : 2,000,000円

人件費積立金 : 9,500,000円

利用者推移

こども園	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
利用者(人)	1,765	1,896	1,780	1,733
前年比(%)	95.2%	107.4%	93.9%	97.4%

一時保育	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
利用者(人)	354	379	420	392
前年比(%)	102.6%	107.1%	110.8%	93.3%

学童保育	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
利用者(人)	448	439	470	480
前年比(%)	93.3%	98.0%	107.1%	102.1%

○状況

・出生数の減少に伴い、利用人数も減少傾向にある。低年齢児の途中入園が多かったが、全園児数は減少傾向にある。
 ・一時保育は、1年を通して利用者があったが、利用児が入園されるなどでやや減少にある。
 ・学童保育は、1年を通して定員の利用となり、途中退所もなかった。待機児童は4名あったが、入所に至っていない。

施設整備

(購入)・モケット(玩具)・ワイヤレスマイクロフォン・イベントテーブル・防災ずきん(低年齢児用)・小型物置(学童)
 (修繕)・鉄棒ケレン塗装・トイレ、調理室排水詰まり修繕・片引き戸車・土壌改良工事

人材育成・研修

法人内研修

・OJT新人・新任研修・絵画、創作部会・園内研修・研修部会

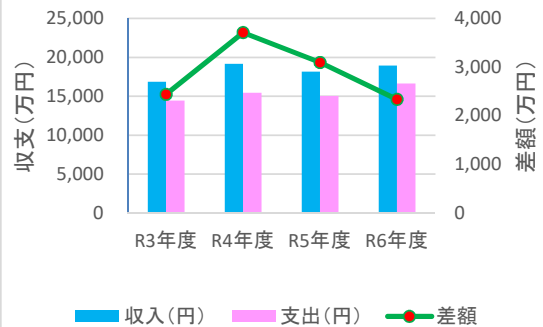
法人外研修

・西予市保育協議会研修会・保育士キャリアアップ研修
 ・愛媛県教育・保育施設初級職員研修会
 ・全国保育研究大会
 ・社会福祉法人会計研修会・子どもの食事と栄養 他

トピックス

・「一人一人が輝き 生き抜く力 を培う」の保育理念のもと、地域・友だち・様々な人との関わり、自然の中での遊びなど、豊かな経験を通して、大切な乳幼児期に様々な力が育つように保育をしている。
 ・保育の質の向上の為、研修などで得た学びを共有したり、行事の見直しや話し合う機会を大切に持った。
 ・防災目的でIP無線機を購入した。いざという時の為に困らないように、普段の保育で活用した。
 ・産育休、退職、採用の職員があり、入れ替わりがあったが、協力し合いながら乗り越えた。

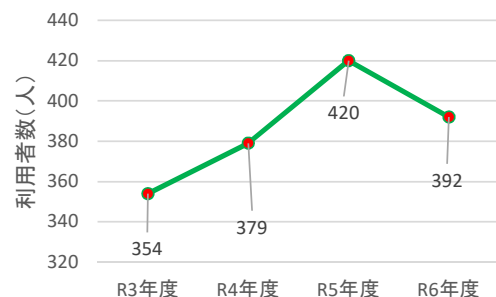
事業活動収支推移



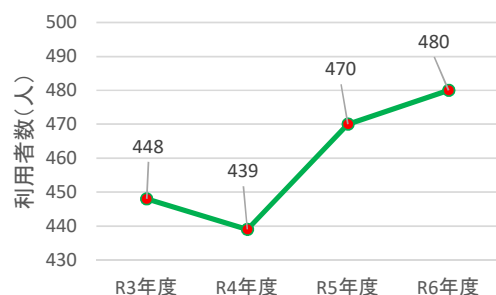
利用者推移(未来こども園)



利用者推移(一時保育)



利用者推移(学童保育)



事業報告 : 中川保育園

事業活動収支推移

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
収入(円)	95,781,009	82,868,131	96,803,765	112,493,492
支出(円)	79,332,415	81,262,077	91,839,500	87,826,102
差額	16,448,594	1,606,054	4,964,265	24,667,390

○状況

・保育園、定員の60名を大幅に超え67名まで増えた為、収支につながった。
 ・学童保育は、定員40名の40名でのスタートとなった。1、2年生が37名、3年生3名の利用。1、2年の利用が多かった。

施設・設備整備積立金 : 4,500,000円

人件費積立金 : 13,000,000円

利用者推移

保育園	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
利用者(人)	815	696	737	779
前年比(%)	99.7%	85.4%	105.9%	105.7%

学童保育	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
利用者(人)	282	473	463	470
前年比(%)	93.2%	167.7%	97.9%	101.5%

○状況

・保育園は、0歳児4名を含め20名の未満児を受け入れた。
 ・学童保育は、小学校敷地内にある為とても利用しやすい環境となり、特に1、2年生の利用が多い為、増員に繋がっている。(中川小:32名・多田小:3名・石城小:5名)

施設整備

保育園

・防犯カメラ3台、モニター設置・洗濯機購入・ソフトブロック購入
 ・シューズボックス・給湯器購入・総合遊具滑り台の塗装
 ・木造ハウスの塗装

学童

・送迎用の軽自動車・図鑑・学習用机

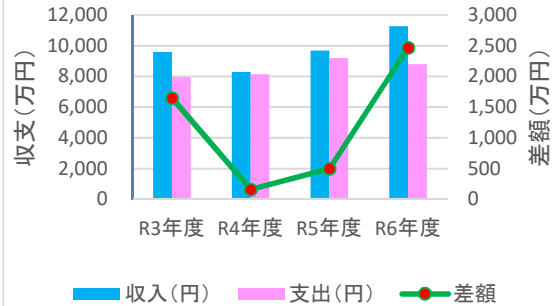
人材育成・研修

・全国保育研究大会・全国保育士会研修大会・キャリアアップ研修
 ・愛媛県保育協議会研修会・新人・新任職員研修会・OJT研修
 ・部会研修(研修・創作)・西予市保育協議会研修会
 ・南予地区人権同和教育研修会・県人権同和教育研究会
 ・園内研修(毎月)

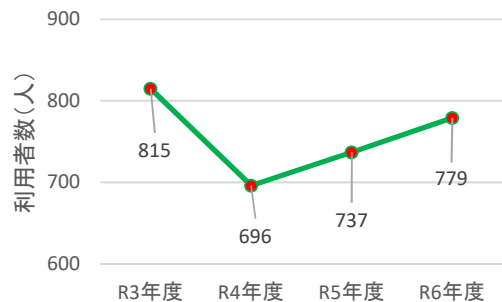
トピックス

・保育園は、行事は出来る範囲で元に戻し実施した。お祭りごっこも保護者の参加のもと実施、地域の文化祭にも年長児が参加し、五ッ鹿やお稚児の舞いを披露し、地域の方々や保護者にも喜んでもらった。
 ・保育理念の「生きる力を培う」の基、園外保育や食育事業など自然の中での体験を多く取り入れた。また、異年齢児との関わりを通しながら、優しさや思いやりの気持ちもしっかり育っている。
 ・学童保育では、中川小敷地内にある為、良い環境の中で、子どもも職員も伸び伸びと落ち着いて過ごせている。行事に関しても子ども達の喜ぶ行事を検討しながら実施し、みんなで楽しめる取り組みを行った。

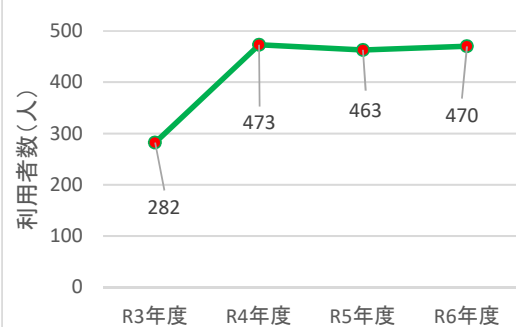
事業活動収支推移



利用者推移(保育園)



利用者推移(学童保育)



事業報告 : 田之筋保育園

事業活動収支推移

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
収入(円)	77,688,132	73,372,457	73,026,582	85,224,983
支出(円)	64,330,542	59,025,233	58,330,718	68,388,756
差額	13,357,590	14,347,224	14,695,864	16,836,227

○状況

定員50名に対して、50名の利用園児数となり稼働率100%となっている。また、特に0歳、1歳児を多く受け入れているため、ゆとりある収入が確保でき、物価や人件費の支出上昇があっても、しっかりと利益を確保できている。

施設・設備整備積立金 : 3,600,000円

人件費積立金 : 10,400,000円

利用者推移

保育園	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
利用者(人)	626	605	607	593
前年比(%)	88.0%	96.6%	100.3%	97.7%

○状況

50名の定員に対して46名でスタートとなったが、8月には50名の定員を満たすことができています。

施設整備

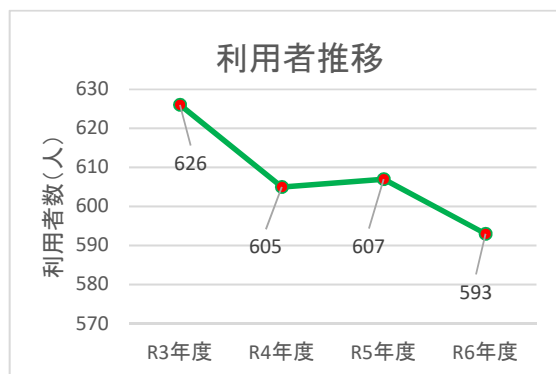
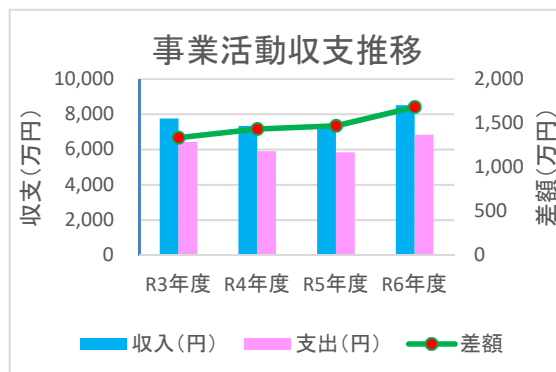
- ・園庭ログハウスの塗り替え
- ・トイレ水栓修繕 ・複合遊具の補修
- ・ルクミー写真撮影用端末iPhoneSE
- ・保育材料(絵本、紙芝居、室内用玩具、水遊び用玩具)購入
- ・砂場安全対策砂を増量
- ・すみれ組(年少児)壁紙修繕
- ・土山修繕

人材育成・研修

- ・保育士等キャリアアップ研修会
- ・法人主催研修会(OJT、各委員会)
- ・部会研修(創作、ICT、人材育成)
- ・西予市保育協議会研修会
- ・園内研修
- ・中堅保育士研修会
- ・主任保育士、主幹保育教諭研修
- ・全国保育士会研究大会
- ・全国保育士研修会

トピックス

- ・コロナウイルス禍以降、年間を通じて感染症等の影響を受けることなく園行事が実施出来た。
- ・令和7年度に向けても、50名の定員を維持した運営が出来ているが、町内全体で園児数、出生数が減少しており、田之筋地区全体の人口も減ってきている。今後1～2年については安定的に運営できると思われるが、3年以降については定員を下げるなどの対応を迫られるなど、経営が厳しくなっていくことが推測される。施設修繕や設備について、ポイントを絞って行い、リース等を上手く使っていくことが必要。



事業報告 : 下宇和保育園

事業活動収支推移

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
収入(円)	58,500,023	97,037,673	91,073,108	87,821,454
支出(円)	55,860,619	88,551,606	92,472,023	75,239,744
差額	2,639,404	8,486,067	△ 1,398,915	12,581,710

○状況

- ・下宇和:施設整備(保育室、ホール床の修繕、遊具の修繕等)による支出が増加した。
- ・明間:休園中により施設管理費用(電気・水道・消防設備費用、警備会社管理料等)
- ・明下田クラブ:修繕、購入品もなく支出は抑えられた。

人件費積立金 : 10,000,000円

利用者推移

下宇和保育園	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
利用者(人)	423	457	474	586
前年比(%)	90.8%	108.0%	103.7%	123.6%

明間保育園	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
利用者(人)	155	153	97	0
前年比(%)	89.6%	98.7%	63.4%	0.0%

学童保育	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
利用者(人)	332	255	290	291
前年比(%)	79.0%	76.8%	113.7%	100.3%

○状況

- ・下宇和:定員50名に対し年度当初49名。2月末退園1名により年度末は48名であった。
- ・明間:定員20名に対し2名の申し込みの為今年度より休園
- ・明下田:定員40名に対し年度当初24名(皆田小18名・田之筋小6名)であったが、途中退会者もあり、年度末23名(皆田小17名・田之筋小6名)であった。田之筋小学校区児童が田之筋放課後こども教室を利用する状態は継続している。

施設整備

下宇和保育園

- ・テント購入、保育室(ばら組)雨漏り修繕、給食室排水詰まり修繕・保育室(もも組)シャワー新設工事及び給水・給湯配管工事、お散歩車兼避難車購入、医務室兼職員休憩室床改修・壁紙張替工事・浄化槽汚泥引抜作業、テーブルベンチ(木製)更新、各保育室量表替え・テラスと廊下照明増設、テラス壁・鉄柱塗装等

明間保育園

- ・園庭樹木の伐採・自動火災報知器取替

明下田クラブ

- ・レゴブロック等購入・公用車修繕

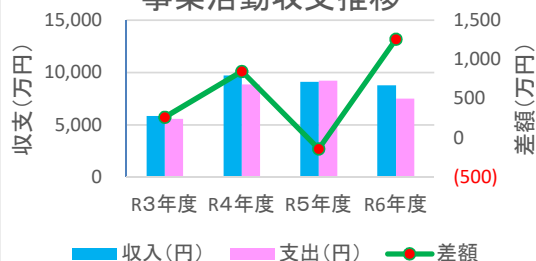
人材育成・研修

- ・西予市保育協議会研修・保育士等キャリアアップ研修
- ・部会研修(創作・絵画)・法人主催研修(OJT・各部会)
- ・ハラスメント研修・園内研修

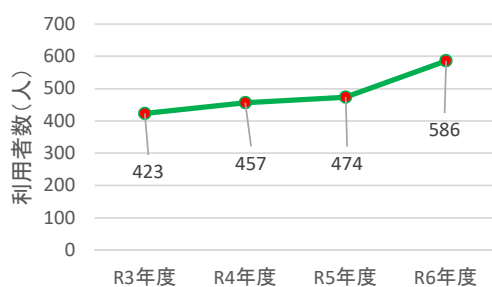
トピックス

- ・保育士(正職)1名メンタル不調により4月末退職により職員を募集をするが見つからず、他園からパート保育士を短時間(4時間)/月2～3日兼務職員として派遣したり、9月より短時間(3時間)/週2日勤務のパート保育士を雇用することで対応。
- ・明間保育園:令和7年度の定員は20名、利用申込者0名の為、令和7年度も休園。令和8年度の申し込み人数が定員に満たない場合は閉園となる。
- ・下宇和保育園:令和7年度の定員は50名、令和7年度43名でスタートする。
- ・明下田クラブ:令和7年度定員40名、令和7年度30名(皆田小25名田之筋小5名)でスタートする。

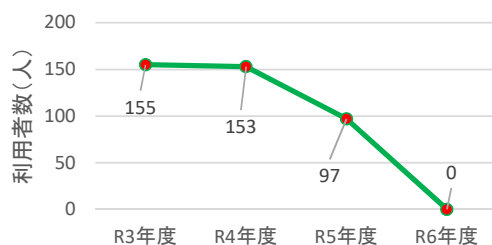
事業活動収支推移



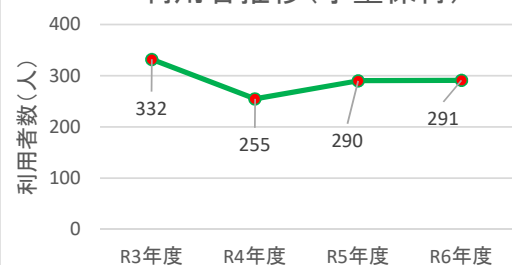
利用者推移(下宇和保育園)



利用者推移(明間保育園)



利用者推移(学童保育)



事業報告 : 宇和保育園

事業活動収支推移

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
収入(円)	153,313,304	148,817,982	154,807,316	172,503,254
支出(円)	129,644,067	136,068,671	141,611,390	163,117,032
差額	23,669,237	12,749,311	13,195,926	9,386,222

○状況

定員を130名から120名に変更した。園児数の推移としては116名でスタートし、3月末118名であった。途中入園、退園児が数名いたが、定員の範囲内であった。0歳児の入所もあり、収入はある程度安定できた。

人件費積立金 : 4,000,000円

利用者推移

保育園	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
利用者(人)	1,471	1,440	1,463	1,421
前年比(%)	107.5%	97.9%	101.6%	97.1%

一時保育	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
利用者(人)	527	443	166	374
前年比(%)	139.1%	84.1%	37.5%	225.3%

支援センター	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
利用者(人)	2,108	1,801	4,014	2,980
前年比(%)	83.7%	85.4%	222.9%	74.2%

学童保育	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
利用者(人)	491	475	440	500
前年比(%)	102.7%	96.7%	92.6%	113.6%

○状況

・令和4年度の利用率の低下から、支援センターに遊びに来ていただく方へ、一時保育の利用を分かりやすく説明することで、気軽に利用していただくようになって、利用が増えた。
・支援センターは、新しいイベントの取り組みを行ったり、インスタグラムを開設し情報が届きやすくなっている。コロナ明けで、一時的に増えたが現在は安定した利用人数だと分析する。

施設整備

- ・外壁・屋根塗装改修工事
- ・新量(乳児室)
- ・防災ずきん
- ・ブランコ修繕
- ・厨房用冷蔵庫

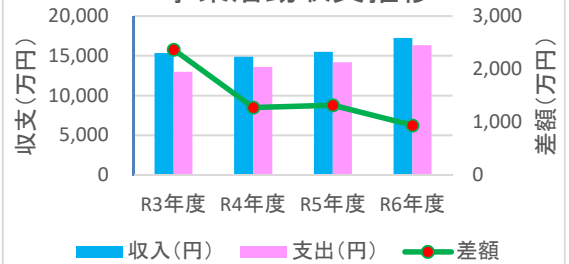
人材育成・研修

- ・法人内研修
- ・保育協議会関係研修(愛媛県・西予市)
- ・保育士キャリアアップ研修
- ・園内研修
- ・全国保育士大会

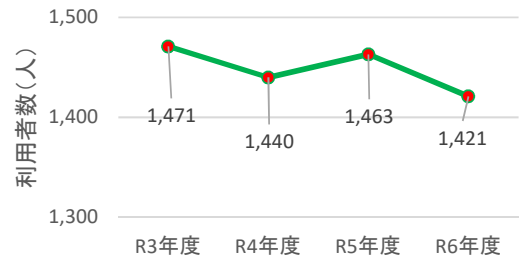
トピックス

- ・保育の質の向上を目指し、職員間で話し合いを重ねながら行事等の取り組みについて見直しを図った。
- ・老朽化が進み、園舎外壁・屋根の塗装修繕が必要となり、大規模に行った。
- ・産前休暇に3名入り、1名(結婚)退職となり、内部での動きはあったが、職員間での協力により、何とか乗り越えることが出来た。
- ・経営面では安定していた。

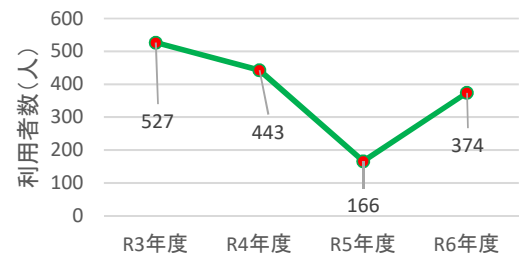
事業活動収支推移



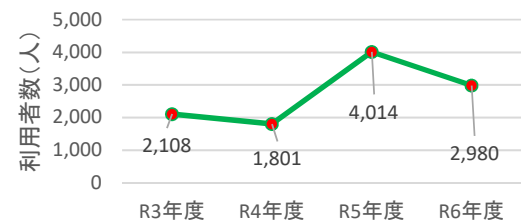
利用者推移(保育園)



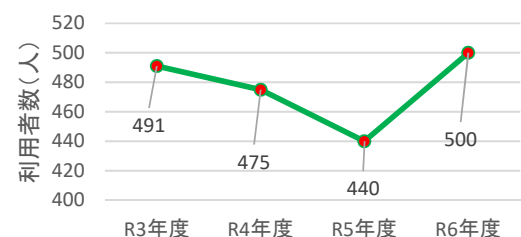
利用者推移(一時保育)



利用者推移(支援センター)



利用者推移(学童保育)



事業報告 : 石城保育園

事業活動収支推移

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
収入(円)	63,503,749	62,524,294	54,811,360	55,844,385
支出(円)	59,123,986	55,865,281	46,805,196	51,873,765
差額	4,379,763	6,659,013	7,052,000	3,970,620

○状況

・定員30名に対し、4、5月は定員割れだったが、6月からは定員を超える利用者があった。

利用者推移

保育園	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
利用者(人)	553	517	382	373
前年比(%)	95.2%	93.5%	74.5%	97.6%

○状況

・年度始めは29名でスタートし、3名の途中入園があり年度末には32名となった。
・来年度以降は、在園児数・地域の出生数を見ても20名を下回る園児数となりそうのため、今後の取り組みについて考えていきたい。

施設整備

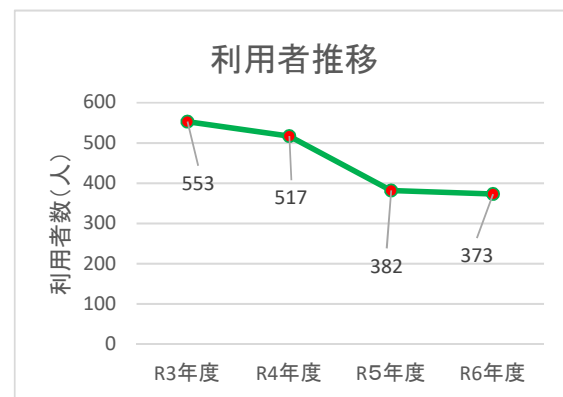
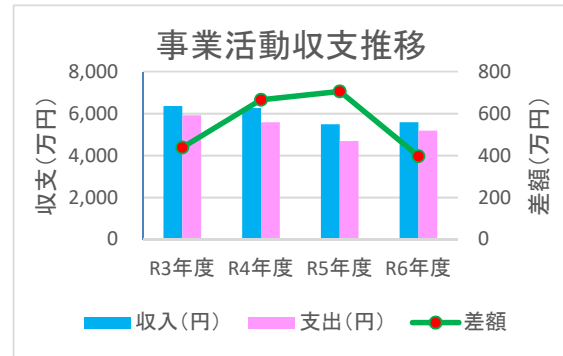
・テラス雨漏り修繕 ・剪定

人材育成・研修

・キャリアアップ研修 ・創作部会 ・OJTリーダー研修会
・西予市保育協議会各研修会 ・愛媛県保育協議会各研修会
・全国保育士会研究大会 ・先進地視察検収 ・SDGs研修会
・南予地区人権同和教育研究協議会 ・防災に関する研修会
・愛媛県人権同和教育研究大会 ・安全研修 ・ハラスメント研修
・ライフプランセミナー ・四国ブロック保育研究大会
・看護協会地区別タウンミーティング
・AEDでたすけ隊 ・心肺蘇生法講習

トピックス

・園児数や家庭数の減少に伴い、また職員の働き方改革を考慮し、地域を巻き込んだ行事に取り組んだ。6月には田植え前の田んぼを借りて、泥田んぼ遊びを楽しんだ。7月の夕涼み会では、石城ロマンの里応援隊におにぎり&おかず作りを含めたコーナーを担当していただいた。9月には乳幼児学級で、地域の防災士に避難訓練の様子を見ていただき、その後石城ロマンの里応援隊と石城地域づくり活動センターにて炊き出し訓練を実施した。12月には、石城ロマンの里応援隊に来園していただき餅つきを楽しんだり、クリスマス会ではサンタ役を演じてもらい、お菓子のプレゼントをいただいたりした。1月には、西予市環境衛生課と地域の野鳥の会員に来園していただき、鶴の観察会を実施した。今後、老人施設との交流やいきいきサロンへの出張、子育てサロンの開催などますます地域との交流を図ると共に、地域の子育て支援に努めていきたい。



事業報告 : 多田保育園

事業活動収支推移

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
収入(円)	56,782,363	46,916,077	45,652,508	50,615,668
支出(円)	41,246,616	42,017,448	40,940,512	47,590,091
差額	15,535,747	4,898,629	4,711,996	3,025,577

○状況

・令和4年度の定員変更以降収入減となっている。令和6年度は、途中入園で5名の0歳児を受け入れたが、途中退園もあり収支にも影響した。

人件費積立金 : 3,400,000円

利用者推移

保育園	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
利用者(人)	310	292	325	309
前年比(%)	108.0%	94.2%	111.3%	95.1%

○状況

・25名でスタートし、年間通して5名の途中入園と5名の途中退園があった。地域外からの利用者は5名であった。希望する保育園が入園可能になると年度途中で転園される方も数名あった。

施設整備

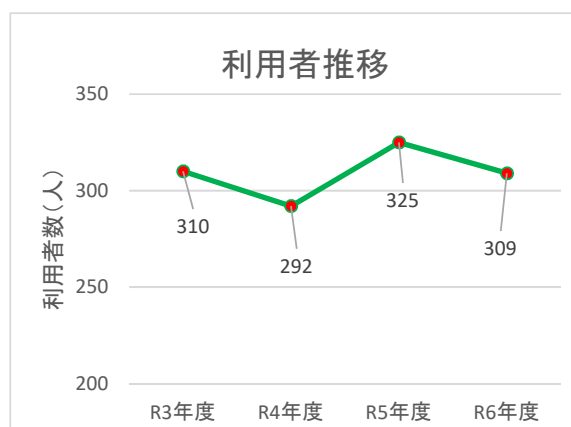
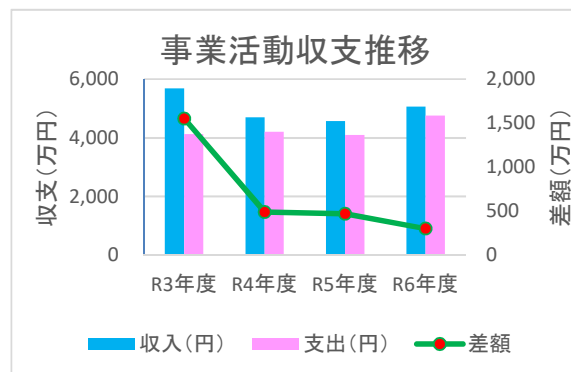
- ・厨房冷凍冷蔵庫購入
- ・砂場の木枠交換修理
- ・園庭木造小屋の屋根塗装

人材育成・研修

- ・キャリアアップ研修・全国保育研究大会(高知県)
- ・全国保育士研修会(京都府)・保育園視察研修(広島県)
- ・安全研修・特定給食施設等関係者研修会
- ・西予市保育協議会研修会・法人主催研修(OJT・部会研修等)
- ・園内研修(自己評価・人権擁護セルフチェック・ハラスメント・リスク等)

トピックス

・保育理念である『様々な体験や、友だち地域の人々との関わりの中で「生きる力」の基礎を培う』を念頭に置き、多田地区の豊かな自然の中へ出かけ、自然の中で様々な体験をしたり、保護者参加の行事や他園の友だち、小学生、地域の方々との交流など様々な経験をする事ができた。特に多田地区のだんだんプロジェクトの方々には保育園の行事に協力していただいたり、保育園も積極的に地域のイベントに参加して交流を深めている。



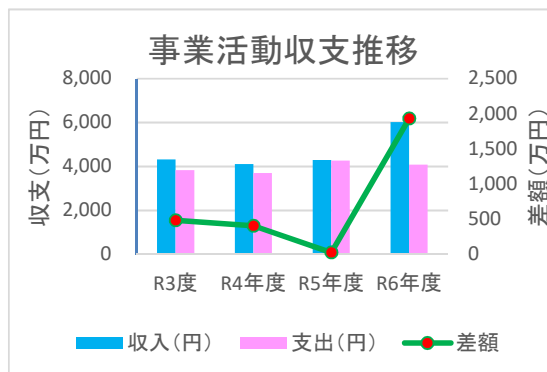
事業報告 : 高山保育園

事業活動収支推移

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
収入(円)	43,181,003	41,093,572	42,961,532	60,168,823
支出(円)	38,315,427	37,039,074	42,691,312	40,844,006
差額	4,865,576	4,054,498	270,220	19,324,817

○状況

令和6年度から認定こども園になり、経営面は安定しているが、一時的なものであり、令和7年度には5人卒園し、園児は減る一方である。園が長く存続できるよう、市とも連携を取りながら進めて行く必要がある。

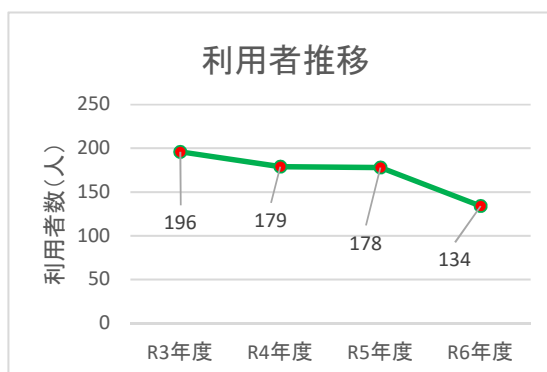


利用者推移

保育園	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
利用者(人)	196	179	178	134
前年比(%)	92.9%	91.3%	99.4%	76.4%

○状況

4月当初10名の園児でスタートした。途中入園児が2名あり、年間トータル134名で月平均11名であった。田之浜2名、高山・宮野浦10名で、依津方面からの利用者はいなかった。昨年度明浜町の出生児は6名で、出生児が今後も増える状況にはない。



施設整備

- ・厨房のドアノブの修繕
- ・公用車を松葉寮から譲りうける
- ・災害対応無線機

人材育成・研修

- ・園内研修(防災・ハラスメント、感染症、AEDリスク、保育研修等)
- ・事業部内の研修(人材育成・研修委員会)・創作部会
- ・法人内人材育成研修・宇和町保育協議会研修会
- ・愛媛県保育協議会研修会・特定給食施設等関係者研修会
- ・キャリアアップ研修・全国保育士会研修会(京都)
- ・全国保育士研究大会(高知)・保育会視察研修(広島)

トピックス

- ・西予総合福祉会高山保育園になって5周年が終了した。令和6年度から認定こども園になる。令和6年度より、子育て支援サークルが、子育て支援サロンに変わり、「かっぱちゃん」というサロン名で、地域に出向いたり、在宅の方が園に来ていただき、親子の支援を行いながら、園のアピールも行っている。まだまだ入園には繋がっていないが、興味を持って来られる方も増えてきている。
- ・県外の出張も増え、様々な研修を行い、専門性を高める事が出来ている。
- ・地震・津波・土砂崩れ等、災害に対する情報を収集したり、防災無線を取り入れたり、避難場所、避難方法の見直しなどを行っている。